

基本目標Ⅰ 創造する力と生きる力、感性豊かな子どもを育む

Ⅰ-1. 就学前の子どもたちが文化にふれる機会の重点的な創出

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点 目標 1	《基本目標・各 方向性》		対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態				協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己 評価				
						0歳～就学前 の参加者のみ	小学生以上	妊産婦	障害者 高齢者	その他				創造	発表	鑑賞	参加 その他	食文化 その他	市(担当 課以外の 課名)		他団体 (団体名 等)	情報発信の方法について							情報 発信 に関する 自己 評価			
																						①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先				⑤その他(具体的に)		
子育て施設課	【保育所等運営事業】 保育所等運営事業 (人形劇の実施)		○	I-1			○	○				各所で活動している人形劇団による、保育所10園、こども園1園での人形劇鑑賞。演目は「おひさま劇場」から2題で、文化性の高い内容のもの。各保育所等で上演することで、子どもたちに鑑賞機会を提供する。	・行事と重ならないように実施時期の調整が必要。 ・実施劇団の選定。	就学前の子どもたちが文化に触れる機会の提供継続に努める。				○	○			人形劇団 クラルテ	1,089						在園児保護者向けにおたより等で通知	○	子どもたちに生のお話を肌で感じてもらえるよい機会である。事業の運営に関しては、施設・庶務部会、所長代理会にて協議しながら協働団体と内容等を決めている。	A
文化国際課	【芸術文化普及事業】 子ども芸術推進事業		○	I-1	I-2		○	○				アウトリーチ事業として、就学前の幼児が所属する施設にアーティストを派遣し、参加体験型の演劇ワークショップを実施。演劇の表現者が、子ども達の豊かな想像力を引き出し、アートに触れる感動や喜びを体感してもらう。令和7年度は「時計のない村」をテーマに、制作や演劇による創造活動などを通じて、様々な表現の仕方や想像力を学んでもらうワークショップ事業を実施。幼稚園9園で4日間の開催(参加者人数:95人)	開催時期の調整。各園が参加したいと思ってもらえる企画の実現。	就学前児童の豊かな発想を伸ばしていくプログラムを提供していく。	○	○	○	○			毛帽子事務所	999							子どもたちに、プロの劇団員によるワークショップを通じて、制作や演劇の楽しさ、想像力を感じてもらえるよい機会である。子どもたちの楽しそうな姿を見られたことはもちろん、先生方にも「良い経験となった」との感想をもらっている。	A		
図書館	【読書活動事業】 子ども読書活動推進事業 ブックスタート事業 おはなし配達事業		○	I-1	I-2	I-3	○	○		○		ブックスタート事業として、令和7年度は、4か月児健康検査時において、「ブックスタートセット」の配布率が100%であった。市内6図書館で乳幼児・児童向けお話会や子ども向け講座等を179回開催した。「こども読書ノート」を図書館窓口や館外イベント等で配布した。児童・生徒の読書推進と学校図書館支援のため、団体貸出サービスを行っています。令和7年度「学校配送セット本サービス」利用総計は、207セット(1セット約40冊)、団体貸出(図書館受取)の総計は、24件838冊であった。おはなし配達事業として、市内全小学校へ年1回おはなし会を届けている。	今後も定例おはなし会を継続しながら、より利用者のニーズに沿った事業を検討し読書推進に繋げていく。ブックスタートセットのPRする時間がなく、読書習慣を身に付けることの大切さを伝えていくことが課題である。	子どもが読書に親しむきっかけとなるよう、各図書館におけるお話会等の見直しを図り、来館者増を目指す。図書館の蔵書構成等において、見直し及び検討を進める。ブックスタート事業において、今後も、配布率100%を目指し、読書習慣を身に付けることの大切さを伝えていく。	○	○	○	○		こども家庭課 子育て支援課 学校教育課	岸和田市子ども文庫連絡会 図書館ボランティアグループ「だっこ」等	1,300	○		○			○	図書館ボランティアグループ「だっこ」をはじめ、岸和田子ども文庫連絡会(岸子連)等、図書館ボランティアスタッフとの連携を大切に、乳幼児期から小学生期の、子どもの読書推進に繋がる活動ができている。	A		
市民病院(経営管理課)	【病院管理事業】 ギャラリー活用事業		○	I-1	Ⅱ-2		○			○		市民病院の廊下にあるギャラリースペースに就学前児童等が作った美術作品を展示。就学前児童等の発表の機会であるとともに、来院される方々には子どもの感性が活かされる作品等を鑑賞する機会となった。	展示作品入替え時のスケジュール調整。	今後も引続き展示を続けていく。				○	○							年に一度、学校教育課、子育て施設課(各保育所)、文化国際課(岸和田製鋼マドカホール)		年に一度、学校教育課、子育て施設課他に案内文を送付	○	来院された方で、立ち止まって眺めている姿をよくみる。子どもの季節に応じたかわいらしい作品に多くの方が癒されているのではと考えられる。	A	

I-2. 子どもたちに対する文化プログラムの充実

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態				協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2							事業全体の自己評価	自己評価	
							0歳～就学前の参加者のみ	小学生以上	妊産婦	障害者 高齢者	その他				創造	発表	鑑賞	参加	食文化 その他	市(担当課以外の課名)		他団体 (団体名等)	情報発信の方法について					情報発信に関する自己評価			
																							①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先				⑤その他(具体的に)
生涯学習課	【青少年育成事業】 子どもの居場所づくり事業		○	I-2					○		子どもたちが余暇に、文化活動を通じて仲間づくりと併せて友情を育み、豊かな心を養うことや、社会性を身につけることを目的としている。 市立公民館で、長期の休み以外の毎週土曜日に2時間程度開講。ジュニアオーケストラ(39回)、陶芸(36回)実施。	特になし。	子ども一人ひとりに感受性や社会性が身についていると感じられるような教室を目指す。	○	○	○	○			900	○							○	学校外で継続的に取り組める文化活動の機会として重要である。また、異年齢交流の中で、人への思いやりやコミュニケーション力が培われている。	A	
学校教育課	【地域教育支援活動事業】 放課後子ども教室事業		○	I-2	I-3				○		平日の放課後の時間や土曜日に子どもの居場所づくりを目的に各教室が計画した特色ある様々な活動(学習活動・スポーツ活動・工作活動・園芸活動など)をボランティアである指導員が中心となり実施した。	ボランティアである指導員の減少に伴い、教室の維持が難しいため、指導員の確保が課題となっている。	ボランティアである指導員の確保を行い、教室の充実(実施内容・数)を図っていく。	○			○		てんてん天神山子ども教室、城北公民館スクール、八木っ子クラブ、修斉放課後子ども教室、わくわく教室山北、みんなの居場所にこここ光明、学びの教室春木	933	○		○					○	子どもたちが楽しく参加できる活動を各教室で計画し、実施できている。また、事業の運営に関しては、実行委員会形式をとり、協議しながら問題点や改善点を共有している。	B	
図書館	【図書館運営事業】 自動車文庫事業		○	I-2	I-3			○	○	○	小学校10校に自動車文庫「なかよし号」で出向き、資料の貸出し、返却等の業務を行っている。また、蔵書の限られたチビッコホーム42か所へ月1回配本、幼稚園・保育所等22か所へ、3～4ヶ月に1回絵本セットの貸出・配送するサービスを行い、各施設の本の充実を図っている。 小学校11校へ学校配送セット本サービスを行った。(公募制12校限定)	老朽化が進む自動車文庫「なかよし号」のあり方と、学校支援サービス全体の見直しの検討。	現在の、自動車文庫「なかよし号」及び小学校への配本等の業務委託契約期間が、令和8年度末までとなっており、令和9年度から、契約更新に向け、業者選定を行い、自動車文庫「なかよし号」及び小学校への配本等の運用について、幼稚園、保育所、こども園及び全小学校へバランスの取れた学校支援サービスを検討していく。	○				○		学校教育課 子育て支援課 子育て施設課	17,500	○							○	引き続き、自動車文庫「なかよし号」の今後の方向性や学校支援サービスについて検討を行う。	B

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点 目標 1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態				協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己 評価				
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者 高齢者				その他	創造	発表表	鑑賞	参加	食文化 その他		市(担当課以外の課名)	他団体 (団体名等)	情報発信の方法について						情報発信に関する自己評価			
																								①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	※④の掲載先				⑤その他(具体的に)		
自治振興課	【平和推進事業】子ども平和映画会開催事業		○	I-2	Ⅱ-1					○		○	ホールにて、映画会を実施した。 また、ホール前ロビーでは、ヒロシマ、ナガサキの原爆写真パネルを展示し、来場する方々に戦争の悲惨さや原爆の恐ろしさを再認識していただく機会とした。 さらに、大阪府警察署の協力のもと、熊取町女兒誘拐事件にかかるチラシとポケットティッシュの配布を実施し、映画上映前にも啓発DVDを上映した。 当日は141名の入場者があった。	近年、映画製作会社が平和や戦争に関する映画を新たに制作することがなくなってきていると聞いているため、どうしても作品が古い物になってしまう。	今後は参加対象者を児童とその保護者に限定せず、参加者の増加を目指す。老若男女問わず映画を通じて、平和の尊さを再認識していただく事業の一つとして継続し、平和推進を図っていく。					○	○			大阪府警察署	245	○	○	○			○	少子化の影響もあり、参加者が減少傾向にあるが、令和7年度も同事業を通じて平和の啓発は実施できたと感じている。	A
生涯学習課	【学級講座等運営事業(学び舎プログラム)】 学び舎プログラム学び舎ネットワーク事業、学び舎プログラム学び舎ゼミ事業、学び舎プログラムまちづくり実践プロジェクト事業		○	I-2	Ⅱ-6					○	学び舎ネットワークでは全世代を対象として「もっさん. のMagic Show」を開催。マジックの実演及び体験会を通じた受講者同士の交流を図った。 まちづくり実践プロジェクトでは、地域活動や市民活動を活性化するとともにより良い地域づくりにつなげることを目的とし、生涯学習を生かした取り組みを行う委託団体を募集した。令和7年度はプレゼンテーションの結果、4団体が採択された。文化芸術に該当する事業を行っていたのは以下の3団体 ・事業名「teamらいと」(団体名:teamらいと) 「ホンネで生きる」をコンセプトに、茶話会やイベント活動を実施。	全世代の集客を見込める事業を分野に偏りなく毎年企画することが課題である。	学び舎ネットワークについては、公民館活動への参画のきっかけとなるよう、幅広い世代が関心を持ち、参加しやすいテーマを引き続き検討していく必要がある。 また、単発の参加にとどまらず、継続的な学びや公民館での交流・活動につながるよう、参加者同士が交流できるような工夫についても検討していきたい。 まちづくり実践プロジェクトについては、より多様で新しい視点での企画提案がなされるよう、周知方法を検討していく必要がある。 また、採択された各委託団体の事業についても、より広く活動内容を知ってもらい、事業の活性化や参加者拡大につなげるため、委託団体と連携を図りながら、イベント実施前後の周知及び活動報告の発信に、より力を入れていきたい。					○	○	○	・teamらいと ・泉州電波発信協会 ・SAY!!セイ岸和田～性と生のセルフケアチーム～	1,031	○		○			○	「もっさん. のMagic Show」では、マジックの体験会を行うことで、受講者同士の交流を促すことができた。 まちづくり実践プロジェクトは市民から事業提案を受けるため、従来の公民館講座とは違った視点での講座を実施できた。	A			
											・事業名「公民館こども劇団(きしわだおぼけやしき)」(団体名:泉州電波発信協会) 公民館を使ったお化け屋敷を開催。企画・演出を子どもが考え、演技や音響など実施に必要な知識や技術をプロから学ぶワークショップを実施。 ・事業名「包括的性教育の普及」(団体名:SAY!!セイ岸和田～性と生のセルフケアチーム～) 月経や性について学ぶ講座を開催。月経の仕組みや生理用品の使い方を学ぶほか、生理用品の吸水実験や性感染症の広がりを体験するワークショップを実施し、小学生～中学生とその保護者や高校生を対象として正しい知識を学ぶ機会とした。																						

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》		対象者						実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態				協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己評価					
						限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者 高齢者	その他				創造	発表	鑑賞	参加 その他	市(担当課以外の課名)	他団体 (団体名等)		情報発信の方法について				情報発信に関する自己評価								
																						①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS		※④の掲載先			⑤その他(具体的に)				
文化国際課	【芸術文化普及事業】アートマルシェ事業		○	I-2	IV-3	IV-1		○	○		○	○	市民が文化芸術にふれるきっかけづくりを目的としたワークショップ。8月と3月に開催。8月は子ども向け、3月は大人向けといったように、毎回講座内容を変えて実施。(参加者8月224名、3月453名)	講座によって申込み状況にばらつきがある。パライティに富んだ講座の充実。幼児・障害児も参加しやすい講座の設定。	文化芸術に触れるきっかけとする事業で、多様なプログラムの充実を図っていく。マンネリ化を防ぐため新たな分野のワークショップを開拓したい。また、プロの芸術を間近に触れる機会も作りたい。	○							育成団体、当館を利用している教室、他	226	○					○	フォーム申込にしたことでより簡単に申込できるようになった。また、毎年参加される市民もあり、文化芸術に触れる機会の提供を担っているといえる。3月はプロのパフォーマンス鑑賞を取り入れたことにより新規参加者や他市からの参加者も多数来館した。	A		
文化国際課	【芸術文化普及事業】インクルーシブコンサートの開催		○	I-2	II-2			○	○	○			文化育成団体である岸和田市音楽団協力のもと、声を出したり席を立ったりすることから一般的なコンサートには行きづらい子どもを対象として実施。より幅広い層に音楽鑑賞の機会を提供している。令和7年度入場者数:125人(付き添いの大人含む)	事業の周知、コンサート体験の向上。	直に音楽を鑑賞する機会として、参加者の満足度が高い事業を目指す。					○				岸和田市音楽団	40	○		○	○	岸和田市音楽団のSNS		○	普段コンサートに足を運びづらい子どもに音楽鑑賞の機会を提供するという事業の目標を達成した。	A
市民病院(医療マネジメント課)	【病院運営事業】市民病院フェスタ開催事業	○	○	I-2	IV-1	II-1						○	市民の皆様健康をもっと身近に感じていただくことを目的としたイベント。久米田チャイルドスクールの演奏によるオープニングから始まり、院内見学ツアーや医療講演、医療機器の展示など病院ならではの催しを実施した。また救急車の展示や各部署が企画したブースなども用意し、子どもからご高齢の方までお楽しみいただけるものとなった。(参加人数:約500人)	広報や周知の方法について見直す必要がある。特に医療講演の参加人数が少なかったため、フェスタとは別に宣伝するなど検討していく。	「現在病気が気になる方」や「これからの子どもたち」をターゲットに、全部署が団結して実施していく。	○	○	○	○			岸和田市消防本部	829	○	○	○	○	○	病院HP 町内会回覧板にて回覧	○	病院職員一丸となって準備から片付けまで取り組むことができた。各ブース、子どもからご高齢の方までお楽しみいただくことができた。市民の方への周知方法を見直し、今後も継続して開催する。	A		

I-3. 小中学校などの学校教育機関における文化事業や地域との文化交流の推進

12	企画課	【大阪・関西万博推進事業】子どもの招待事業	○	○	I-3	I-1		○	○				次世代を担う、4歳から17歳までの子どもたちが、世界の最先端技術や価値観などに直接触れる体験を重ねることで、新しい未来社会の創造に向け、自らの将来にチャレンジできるよう、2025年日本国際博覧会のチケットID無償配付を実施。入場数3,637名。	令和7年度で事業終了	令和7年度で事業終了				○	○				大阪府、大阪市	4,672	○	○	○	○	大阪府ウェブサイト		○	大阪府と連携し、府1回、市1回の計2回の無料招待を実施することで、次代を担う子どもの可能性を伸ばすことに繋げた。	A
----	-----	-----------------------	---	---	-----	-----	--	---	---	--	--	--	--	------------	------------	--	--	--	---	---	--	--	--	---------	-------	---	---	---	---	-----------	--	---	--	---

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》		対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態				協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己評価				
						限定の参加者のみ	0歳～就学前小学生以上	妊産婦	障害者 高齢者	その他				創造	発表表	鑑賞	参加	食文化 その他	市(担当課以外の課名)		他団体 (団体名等)	情報発信の方法について				情報発信に関する自己評価						
																						①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらしポスター類	④市以外のHP・SNS				※④の掲載先	⑤その他(具体的に)		
学校教育課	【読書活動事業】 学校司書配置事業		○	I-3			○		○		学校司書を配置し、(令和7年度実績 1校週4回配置…小学校11校、1校週2回配置…小・中学校24校)児童・生徒の読書意欲、読書週間を形成することや、読書活動の企画や立案、読書活動への支援や相談、学習に関する資料の提供、提案をおこない、読書活動をさらに推進する。	派遣された学校司書と学校の図書館担当をうまくつなげ、子どもの読書推進をより充実させていくかが課題。	専任校(1校週4回配置)や日数を増やす等充実させていきたい。また、図書館業務を円滑に進め、活用状況を把握・分析できるシステムの導入を検討したい。					○			40,579							子どもへの読書活動の推進のため、充実に努めているが、人材の確保が難しいことや限られた予算の中で読書推進の工夫を行っていく必要がある。	A			
学校教育課	【児童生徒育成支援事業】 文化祭参加等事業 (幼・小・中学校所属児童作品展示)		○	I-3				○	○		市立幼稚園、小学校、中学校、高校に所属している児童・生徒の作品等を、市役所の廊下にQRコードと合わせて掲示。HPにも掲載している。	掲示場所が旧館の階段にあるため、目立ちにくい。	保護者を含む市民の方々に広く知っていただけるための活動の推進。(庁内電光掲示板へのメッセージ添付)		○	○	○			広報広聴課			○					庁内電光掲示板	○	掲示作品を父母、祖父母等が観に来てくれる機会が増加している。	A	
選挙管理委員会	【選挙常時啓発事業】 選挙常時啓発事業			I-3					○		岸和田市内の小・中学校及び産業高校に対し、明るい選挙啓発ポスターの作品募集を行い、応募作品については市HPに掲載した。 【小学校(城北)65点、中学校(野村、久米田、光陽及び岸城)39点】	岸和田市内の各学校に依頼をしているが、参加する学校に偏りがある。	今後も継続して事業を行い、明るい選挙に向けた啓発を進める。			○	○	○			公益財団法人 明るい選挙推進協会 都道府県選挙管理委員会連合会 大阪府選挙管理委員会		35	○		○			学校への出前講座時の宣伝	○	毎年多数の応募があり、明るい選挙について推し進めることができる。	A

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2							事業全体の自己評価	自己評価		
							限定の参加者のみ	0歳～就学前小学生以上	妊産婦・高齢者	障害者	その他				創造	発表	鑑賞	参加	食文化等その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)		情報発信の方法について					情報発信に関する自己評価					
																							①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先		⑤その他(具体的に)				
人権教育課	【人権教育・人権啓発事業】 人権作品集発行事業、人権啓発事業、人権を守る作品展開催事業		○	I-3					○		○	人権を守る作品展をマドカホールで実施(入場者数1376人、小中校36校393作品)、また巡回人権を守る児童・生徒作品展を5カ所で開催、いじめ問題啓発児童・生徒作品展を実施。	子どもたちの人権意識の育成を図る。	子どもたちの人権意識の育成を図るとともに、児童・生徒等によるポスターや標語を展示する「人権を守る作品展」などによる啓発を充実させます。	○	○	○			人権・男女共同参画課	岸和田人権協会	465	○			○			○	1,000人以上の市民が、児童生徒の作品や人権の取組に関するパネルやポスター等を鑑賞。参加者から児童生徒の作品について大変好評を得ている。	S		
産業高校学務課	【産業教育フェア開催事業】 デザイン科卒業作品展開催事業		○	I-3					○			岸和田市立産業高等学校全学科の取組みを紹介するとともに、令和7年度卒業のデザインシステム科生徒による卒業制作作品展示及び舞台発表(ファッションショー)をマドカホールにて実施。3年間の学びの集大成としてクラス統一テーマを掲げて作品制作を行い、企画・広報・運営など生徒主体で取り組んだ。在籍生徒、家族をはじめ、広く社会に向けて鑑賞の場として提供している。	ファッションショー来場者数は450名になり、多くの方に来場いただけるようになっていく。混乱なくご覧いただけるように継続したい。	生徒の意欲や作品の精度は年々向上しており、近年は学校関係者以外にも多数ご来場いただけるようになった。今後も生徒が3年間で身に付けたデザインに関する知識や技術を表現する集大成の場として威厳ある作品展にしたい。	○	○	○						○	○	○	学校HP	テレビ岸和田	○				企画・広報・運営全てを生徒主体で行っている。多くの方にご来場頂き、作品展示・舞台発表ともに好評をいただいた。また、テレビ岸和田にも取り上げていただいている。	A
文化国際課	【文化会館管理事業】 文化会館貸館事業(チャレンジ支援事業)		○	I-3	I-4		○	○				小・中学校への支援として実施。チャレンジ支援事業では、各校のクラブ活動団体がコンクールに参加する場合、本番に近い環境を経験することで日常の練習の成果が本番に活かされるようホールの使用を提供。令和7年度利用団体数は2、利用件数は3。	事業の対象がはっきりしているため、通知文を送付し、周知に努めているが、各校の関係者にどの程度周知されているか不明。	引き続き、小・中学校への支援として継続していく。				○								年に一度、市内小・中学校に案内文を送付	△			本番に近い環境を整え、提供できた。来年度は周知方法を追加・工夫し利用団体参加をより促していきたい。	A		

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態				協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己評価	
							0歳～就学前の 限定の参加者のみ	小学生以上	妊産婦	障害者 高齢者	その他				創造	発表	鑑賞	参加	食文化 等その他	市(担当課 以外の課名)		他団体 (団体名等)	情報発信の方法について				情報 発信に する 自己 評価			
																							①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS				※④の掲載先
人権教育課	【人権教育研究事業】 泉南地区人権教育協議会事業 (泉南地区支援教育研究会学習発表会開催事業)		○	I-3	II-2			○		○	○	各小中学校の支援学級在籍の児童生徒が、2日間かけてマドカホールにて普段の学習の成果を発表(児童生徒数約644人)し、個々に応じた目標の達成を図った。	各校の担当教員同士の綿密な打ち合わせや引継ぎ。	児童生徒の日々の学習発表の場として、今後も継続して実施していきます。	○	○	○				泉南地区支援教育研究会	803	○			○		学習してきた成果を発表することで、仲間と協力してやり遂げたという児童生徒の自信につながっている。また、保護者の参加もあり、子どもたちに対し、これまでの努力を褒めるなど、あたたかい言葉かけがある。	S	
障害者支援課	【地域生活支援事業】 障害児・者作品展開催事業		○	I-3	II-2			○		○	○	障害者週間において、障害児(者)の作品を展示する作品展を開催し、障害児(者)の社会参加の機会を広げることを目的としている。 参加者(出品者)数…(児)1,135人、(者)7人	休日に開催してほしいとの要望がある。	作品展等は、例年どおり実施予定。休日開催については、貸館状況及び作品搬出を各校の教員、出展者が対応することから、調整が必要である。	○	○	○	○			(作品を出品する)市内小・中学校、支援学校	309	○	○	○		市内小中学校支援学級および岸和田支援学校に案内文を送付	○	作品展は本課が企画・運営しており、展示の際は本課職員、出展学校の職員や出展する障害者が協力し、円滑に展示できている。	A

I-4. 子どもたちの文化活動への育成・支援

21	文化国際課		○	I-4	II-1	IV-1		○				○	3つの育成団体(合唱・吹奏楽・演劇)の活動を支援し、団体の質の維持及び向上を図るため、指導者への謝礼を支払う。また、定期発表の場を設け、日常の成果を市民に還元するための公演を実施している。	団体が安定的に活動をしていくためには、一定数の団員数が必要。	各団体の活動が、当課の活動をこえて、市内の各所で展開できるよう、団体の存在や活動を広く知ってもらう。	○	○	○	○			岸和田市青少年少女合唱団、岸和田市音楽団、マドカドラマスクール	2,240	○	○	○	○	各団体のSNSアカウント		○	団体のレベルを維持していくため、今後も連携を密にしていき、支援を続けていきたい。	A
----	-------	--	---	-----	------	------	--	---	--	--	--	---	--	--------------------------------	--	---	---	---	---	--	--	---------------------------------	-------	---	---	---	---	--------------	--	---	--	---

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態				協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己評価	
							0歳～就学前 の参加者のみ	小学生以上	妊産婦	高齢者	障害者 その他				創造	発表表	鑑賞	参加	食文化 その他	市(担当課 以外の課名)		他団体 (団体名等)	情報発信の方法について				情報 発信に する自 評価			
																							①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS				※④の掲載先
文化国際課	【国際交流団体支援事業】国際親善協会支援事業、日中友好協会支援事業、日韓親善協会支援事業		○	I-4	II-1	IV-1				○		○	3つの団体の活動を支援し、団体の質の維持及び向上を図るため、補助金を交付している。	団体が安定的に活動をしていくためには、一定数の会員数が必要。	各団体の活動が、当課の活動をこえて、市内の各所で展開できるべく、団体の存在や活動を広く知ってもらいたい。							3,037	○					○	団体のレベルを維持していくため、今後も連携を密にしていき、支援を続けていきたい。	S

I-5. 国際交流の推進

産業高等学校学務課	【高等学校教育振興事業】韓国姉妹校交流事業		○	I-5					○			姉妹校である韓国ソウル特別市永登浦区漢江メディア高校より、生徒10名、引率者4名を受け入れた。授業や部活動体験、大阪・関西万博へのフィールドワークやホームステイを通じ、親睦を深めるとともに異文化交流を推進した。	派遣・受入生徒数の増員と、両者にとってより適切な交流期間・時期の検討。	令和7年度から府立高校でも国際交流が始まったが、15年以上の実績がある本校の交流事業をPRし、本校の魅力向上に努める				○				922				○	学校HP	○	姉妹校交流に参加した生徒の満足度は高く、派遣生徒の選考試験は生徒の大きな目標になっている。今後も継続して実施する。	A				
文化国際課	【国際交流事業】姉妹友好都市交流事業		○	I-5	Ⅱ-3		○	○		○		姉妹都市である韓国ソウル特別市永登浦区より文化視察団の受け入れを行い、本市の市展受賞作品展に永登浦区の文化作品を展示し、合同作品展として開催。文化活動をしている市民・団体をはじめ、広く市民に多文化交流の機会を創出。 姉妹都市である米国サウスサンフランシスコ市へ、岸和田市に在住・在学の青少年15名を派遣。現地でホームステイを通じて、現地学校や各施設で青少年・市民交流を実施。 姉妹都市である米国サウスサンフランシスコ市の姉妹都市協会の会長・副会長を含む12名の訪問団による大阪・関西万博と泉佐野市で開催の日米姉妹都市会議への参加に伴い、両都市の友好をさらに育むため、岸和田市内で交流を実施。	隔年事業として行っているが、広く市民に周知されているわけではないので、どのように周知して参加していただくが課題。 本市の魅力をいかに伝えるかをテーマに、事業に協力していただける関係機関・団体との連携をさらに広める。 市民や青少年との交流の場をさらに多く設け、多文化理解・共生の機会を充実させる。	事業を継続し、広く周知して市民参加していただくことで多文化理解を高めるとともに、様々な交流の機会を設けることで、多文化共生を実現していく。				○	○	○		学校教育課・岸和田市立産業高等学校	岸和田市文化協会、岸和田市国際親善協会、岸和田市日中親善協会、岸和田東ロータリークラブ		6,436	○	○	○				○	国際交流を通じて芸術文化の交流や、青少年による交流、そしてスポーツ交流と幅広く交流を実施できた。今後も事業継続し、課題や改善点から事業内容を充実させる。	S

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者				実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態				協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己評価				
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦				障害者 高齢者	その他	創造	発表	鑑賞	参加		食文化等 その他	市(担当課以外の課名)	他団体 (団体名等)	情報発信の方法について					情報発信に関する自己評価			
																								①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類				④市以外のHP・SNS	※④の掲載先	⑤その他(具体的に)
文化国際課	【国際交流事業】 青少年海外音楽交流受入事業	○	○	I-5	Ⅱ-3		○	○		○	交流都市である仏国ラ・ロシェル市よりコンセルバトワール(音楽院)の青少年2名と随行者2名の受け入れを行い、ホームステイと大阪・関西万博と市内での演奏公演を通じて市民交流を実施。	音楽という専門的な分野での交流であるため、音楽の枠にとどまらずさらに広く市民交流につなげられるようにプログラムを充実させることが課題。	今後も音楽というテーマを通じて相互交流を継続し、より多くの青少年に国際交流の機会を与え、将来のビジョンの助力にしたい。	○	○	○	○			在京都フランス総領事館	6,519	○	○	○				○	初めての音楽交流受入事業であったが、公演の成功により文化的な市民交流の成果を得ることができた。今後も音楽というテーマを通じて相互交流を継続できるように事業展開を行っていく。	S		
文化国際課	【国際交流事業】 大阪・関西万博に伴う姉妹・友好4都市受入事業	○		I-5			○	○			姉妹都市である米国サウスサンフランシスコ市から市長を含む5名を受け入れ、大阪・関西万博に招待し、両都市の交流を実施。 姉妹都市である韓国ソウル特別市永登浦区から行政職員4名を受け入れ、大阪・関西万博に招待し、両都市の交流を実施。 友好都市である上海市楊浦区から副書記を含む6名を受け入れ、大阪・関西万博に招待し、両都市の交流を実施。 友好都市である中国汕頭市から人民政府副書記を含む12名を受け入れ、大阪・関西万博に招待し、両都市の交流を実施。	通常の国際交流事業とは異なり、各都市の行政職員の受け入れであったため、今後、同様に受け入れることがあれば、両市・区による実務的な会談の機会を設けるなどプログラムを充実させることが課題。	今後も姉妹・友好4都市と交流を継続し、多文化共生を実現していく。		○	○	○			岸和田市国際親善協会、日韓親善協会、日中友好協会	2,641										大阪・関西万博の国際的なイベントにより、姉妹・友好都市の4都市とさらに交流を深めることができた。	S

基本目標Ⅱ 輪を広げる

Ⅱ-1. 発表・鑑賞機会の充実

27	自治振興課	【平和推進事業】 巡回平和パネル展開催事業			II-1							○	春木市民センターと市役所新玄関の計2カ所で、「絵本はだしのゲン複製原画展」を実施。また、広島市より原爆投下の被害等を疑似体験できるVRゴーグルを借り受け、体験コーナーを設けた。	市民センターのロビー等に展示しているため、実際の来場者数を把握することが難しい。	市民にとって、より身近な施設で開催することで、多くの市民に鑑賞いただくとともに、非核平和への意識が高揚していく機会としていく。	○	○	○					74	○	○	○			○	戦後80年の節目に、広島市から「はだしのゲン複製原画」とVRゴーグル(原爆投下時の被害を疑似体験できる)を借り受けたこともあり、NHK関西のニュースで本事業を取り上げていただくことができた。多くの市民の皆様へ鑑賞していただき、戦争の悲惨さや平和の尊さを再認識していただけたものと認識している。	A
----	-------	--------------------------	--	--	------	--	--	--	--	--	--	---	--	--	---	---	---	---	--	--	--	--	----	---	---	---	--	--	---	--	---

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己評価	
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者 高齢者				その他	創造	発表	鑑賞	参加	食文化 その他	市(担当課以外の課名)		他団体 (団体名等)	情報発信の方法について				情報発信に関する自己評価			
																								①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS				※④の掲載先
自治振興課	【平和推進事業】 非核平和資料展開催事業		○	Ⅱ-1					○		○	広島出身の写真家 堂畝紘子氏による講演会を開催。また同氏の作品「生きて、繋いで 被爆三世の家族写真」をメインに、核兵器を巡る世界情勢についてのパネル、日本原水爆被害者団体協議会作成の「原爆と人間」のパネル、戦時中の現物資料等を展示した。	展示のメインテーマを何にするか、どこで開催すればより多くの方々に見ていただけるか等について、毎年度苦慮している。今後も「平和を考える戦争展」実行委員会メンバーで協議しながら、市民の関心のあるテーマやより多くの方々に見ていただける場所について検討していくこととする。	市民が「戦争の悲惨さ」や「核兵器の恐ろしさ」を知り、平和の尊さを認識してもらう。							平和を考える戦争展実行委員会	238	○	○	○	○	会場であるラパーク岸和田の公式LINE	会場であるラパーク岸和田店内でのポスターの掲示	○	各年度によりテーマを変えて実施している。非核平和資料の展示のほか、コーラスグループによる歌唱、朗読劇、講演会も実施し、多くの市民の皆様に戦争の悲惨さや平和の尊さを再認識していただけたものと認識している。	A
市民病院 (医療マネジメント課)	【病院運営事業】 ロビーコンサート開催事業			Ⅱ-1							○	令和7年度は市民病院フェスタ内で実施した。岸和田市音楽団に依頼し、子どもから大人まで楽しめる楽曲を演奏していただいた。	毎回ボランティアで参加していただける団体を探すことが難しい。	ロビーコンサートは単独開催にし、患者様の心を和らげる行事となるよう出演者・スタッフで協力していく。							市民病院フェスタに含む	○		○	○	○	病院HP	○	市民病院フェスタのエンディングイベントだったため、ロビーコンサートが始まる前に帰宅される方が多くいた。また、感染症の流行時期であったことや人手不足の観点から入院患者様は参加できなかった。そのため開催形式を見直す必要があると感じた。	B	
人権・男女共同参画課	【人権啓発事業】 人権を守る作品展開催事業		○	Ⅱ-1					○		○	12月の人権週間に向けて、「人権尊重」をテーマにした作品(ポスター、標語)を募集して、入選作品を12月に「人権を守る作品展(会場:マドカホール)」で展示するほか、1月、2月に「人権を守る作品展巡回展示(各市民センター)」で展示。マドカホールでの来場者は令和7年度は1,376名。	子どもは学校を通じて多数出品されるが、市民の作品応募が少ない。	引き続き作品展を開催することにより、人権啓発が図られる。作品応募について、市民協議会人権部会への案内を実施する。						人権教育課	岸和田市人権協会	207	○	○	○		人権協会や人権啓発企業連絡会に周知	○	作品の制作に取り組んでいただき、またその作品を展示し市民の方々に見ていただくことで、様々な「人権」に触れ、大切さなどに気づききっかけづくりとなっている。	A	

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》		対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態				協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己評価		
						限定の参加者のみ	0歳～就学前小学生以上	妊産婦	障害者 高齢者	その他				創造	発表表	鑑賞	参加	食文化等 その他	市(担当課以外の課名)		他団体 (団体名等)	情報発信の方法について				情報発信に関する自己評価				
																						①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS				※④の掲載先	⑤その他(具体的に)
文化国際課	【芸術文化普及事業】市展開催事業			Ⅱ-1						○	美術に関する分野(洋画・写真・書・俳画・陶芸・日本画)の公募展を行い、毎年11月に受賞作品を集めた展覧会を行っている。令和7年度は、平年通り各部門の作品の公募、審査を行い各賞を決定し、作品解説を実施した。 市展:総出品点数267点、総来館者数2059人	以前からの出品者の高齢化に伴い出品数と来館者が減少している。若い世代の出品数が少ない。	若い世代への出品をひろげるべく、募集要領の配布先変更等を検討していく。また、市民でさえ市展の存在を知らない人が多いため、その周知に務める。	○	○	○	○			市展委員会	1,961	○		○			地域情報誌	○	出品者の高齢化は切実だが、若い世代の出品を広げるべく、高等学校への募集要領の配布の工夫を行った。また、受賞作品展では、招待状、ポスターを作成するなど集客に努めた。	B
文化国際課	【芸術文化普及事業】マドカ合唱祭開催事業			Ⅱ-1						○	市内各所で活動している合唱の団体に、発表の場を提供するとともに他団体との交流を促進し、合唱活動を盛んにすることを目的として開催している。一般の個人も参加できるオープニング合唱は引き続き中止としたが、エンディング合唱は実施している。(参加28団体、479名)	事業のPR、観客マナーの向上、出演者の高齢化への対応。新規参加団体の拡充。	事業の内容を工夫、充実していき、合唱祭の活性化を図る。	○	○	○	○			マドカ合唱祭実行委員会、テレビ岸和田	150	○	○	○				○	事業の運営に関しては、実行委員会形式をとり、協議しながら内容を決めている。委員、また参加団体の意欲を高めていくため、仕組みづくりの強化が必要。	A
生涯学習課	【青少年活動事業】フレンドシップコンサート事業		○	Ⅱ-1	Ⅰ-4			○		○	青少年音楽団体の研鑽と交流を図り、地域の音楽活動を推進するとともに、青少年文化の向上を図ることを目的とし、6月に浪切ホールにて開催している。参加団体(市内の学校や青少年による吹奏楽・合唱グループ等)で構成する実行委員会が企画・運営を行っている。 14団体が参加。	実行委員会による自主的、主体的な企画・運営を目指しているが、団体の役割分担の調整が必要。	より一層、参加団体が主体となり、企画・運営ができるようにしていく。	○	○	○	○			フレンドシップコンサート実行委員会	590	○		○				○	実行委員会形式で運営することにより、青少年と成人それぞれの活動団体の交流となり、青少年にとっては、未来の活動の支えとなっている。	A

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点 目標 1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態				協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2							事業全体の自己評価	自己 評価		
							限定の参加者のみ	0歳～就学前小学生以上	妊産婦	障害者 高齢者	その他				創造	発表	鑑賞	参加	食文化等 その他	市(担当課以外の課名)		他団体 (団体名等)	情報発信の方法について					情報発信に関する自己評価				
																							①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先				⑤その他(具体的に)	
文化国際課	【芸術文化普及事業】文化祭開催事業			Ⅱ-1	Ⅱ-5						○	自主的に岸和田市民が行う文化活動の成果を発表する機会をつくり、発表者と鑑賞者相互の交流を深めることにより、文化活動に対する意識の高揚と、文化の振興を図ることを目的とする。 展示部門・参加申込17団体・出品数3,954人、舞台部門・参加申込15団体・出演者数1356人、来場者総数18,263人	参加者が学生と高齢者で2分化されていたが、実行委員会事務局の活躍でダンス部門が定着した。引き続き新たな部門等で中間層の参加を増やすことが必要。	引き続き、教育委員会と連携して、幼児や小中学生の参加を継続していく。中間層の参加を促すために、後継者の育成が必要。	○	○	○	○	○	教育委員会	文化祭実行委員会、文化祭サポーター	2,200	○				○		プログラムの町会への全戸配付、Nattsへの掲載	○	昭和23年から続いている文化祭は、市民の文化活動の成果を発表する場として定着している。	A
生涯学習課	【学級講座等運営事業】公民館まつり事業			Ⅱ-1	Ⅱ-5	Ⅱ-6					○	公民館を利用するクラブ員や、定期講座生・家庭教育学級生などが、普段の学習や練習の成果を発表・展示する場とするとともに、参加者同志の交流・連携を図り、公民館を広く市民に理解してもらうことを目的として地域イベントとして実施。公民館利用者の増加にもつなげたい。	公民館利用者の高齢化等により、活動団体における役員の担い手不足や登録団体数の減少が課題となっている。 また、来場者数は大きな増加が見られず、若年層の来場者は減少傾向にあることから、若年層や新規利用者が参加しやすい内容や周知方法について検討する必要がある。	実行委員会形式で当課が事務局となり、協働して開催していく。 公民館利用者の成果の発表及び地域住民の交流の場として継続するとともに、若年層や新規利用者の参加促進に向けた方策を検討する。	○	○	○	○		公民館まつり実行委員会		22	○				○			○	各館において、展示の部・発表の部・模擬の部にわかれて公民館まつりを行った。 公民館利用者にとっては1年間の活動の発表の場として機能し、一般参加者にとっては公民館の活動について知っていただくよい機会となっている。	A
人権・男女共同参画課	【男女共同参画センター管理事業】大宮地区公民館・男女共同参画センター合同まつり開催事業			Ⅱ-1	Ⅱ-5	Ⅱ-6	○	○			○	男女共同参画センター、大宮地区公民館で活動するグループ間の交流、活動発表、及び地域住民との交流を図ることを目的に11/15・11/16に開催。来場者は合計1,330名。	これまで、男女共同参画センター、大宮地区公民館に来館されたことのない方に、来ていただくための工夫が必要である。	事業の内容を工夫し、より多くの方に参加いただけるようPR方法を工夫し、地域を含めた館の活性化を図る。	○	○	○	○		大宮地区市民協議会		94	○				○		○	普段、センターにあまり来られない子育て世帯などにも多く来ていただけ、センターの周知ができた。また、男女共同参画登録グループ、大宮地区公民館登録クラブの交流の場にもなった。	A	

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》		対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己評価
						限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者 高齢者				その他	創造	発表表	鑑賞	参加	食文化 その他	市(担当課以外の課名)		他団体 (団体名等)	情報発信の方法について				情報発信に関する自己評価		
																							①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS			
文化国際課	【芸術文化普及事業】 自泉会館等活用促進事業			Ⅱ-1	Ⅲ-1					○	市民自らが文化事業の企画制作を行い、能力の向上を図るとともに、自泉会館の活用を推進している。 今年度は、5つの事業を実施した。	特になし。	今後も継続するとともに、より広くの年代の参加、若手芸術家の育成・支援に努める。	○	○	○	○		岸和田文化事業協会	1,734	○				○	岸和田文化事業協会HP、Facebook	○	今年度も様々なジャンルの事業を実施し、たくさんの方に楽しんでいただけた。	A
廃棄物対策課	【一般廃棄物処理計画推進事業】 一般廃棄物処理計画進行管理事業 (標語・ポスター入選作品の表彰・展示)			Ⅱ-1	Ⅲ-3	Ⅰ-3			○	○	まちの美化、青少年の健全育成、緑の保全及び推進について標語・ポスターを募集。標語176点、ポスター333点の応募があり、標語20点、ポスター30点を入選作品とし、表彰及び展示を行った。	特段なし。	市内各校から広く応募できるように工夫しながら、応募数が増えるようにしたい。	○	○	○		まちを美しくする 市民運動推進協議会	183	○					各学校に応募依頼文書を送付	○	市内の各団体で組織されている協議会の取り組みが理解され、市民に広がることを期待するためには有意義な事業であると認識している。	A	
文化国際課	【文化会館管理事業】 文化会館貸館事業		○	Ⅱ-1	Ⅲ-4	Ⅳ-3				○	文化活動の拠点施設として、また地域活性化の施設としての役割を果たしている。 (令和7年度 年間利用件数2,072件、利用者数82,502人)	施設の老朽化により、快適な貸館の提供が難しくなっており、対策が必要。	施設利用者の意見や要望を把握し、きめ細かい対応を行うことで、施設利用者の満足度の向上を図り、施設利用につなげていく。	○	○	○	○				○		○			○	コロナ以降の大きく落ち込んだ利用状況も回復しつつあり、文化祭や発表会の場として秋以降のホールの利用が定着。文化芸術の教室としても活用されている。	A	

Ⅱ-2. 高齢者、障害者等の文化活動の充実

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2							事業全体の自己評価	自己評価
							0歳～就学前 の参加者のみ	小学生以上	妊産婦	障害者 高齢者	その他				創造	発表	鑑賞	参加	食文化 その他	市(担当課以外の課名)	他団体 (団体名等)		情報発信の方法について					情報発信に関する自己評価			
																							①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先		⑤その他(具体的に)		
図書館	【図書館運営事業】 障害者サービス事業			Ⅱ-2								毎月、岸視協だよりに掲載していただく「点字図書・録音図書貸出状況」の原稿作成、年に4回、声の新着図書案内の原稿作成(制作・配布は、朗読ボランティアひばりの協力で、岸和田市視覚障害者協会に委託)。録音図書(製作は朗読ボランティアひばりに委託)製作依頼、予約、取寄、貸出、国立国会図書館視覚障害者等用送信サービスへの提供、宅配。対面朗読。	障害者サービスを必要としている方への周知。	障害者サービスを必要としている方が、利用できる形での資料の提供。					○		岸視協 点訳ボランティア 朗読ボランティア 社会福祉協議会	380				○			○	各関係団体の協力により、障害がある方への図書の情報提供や貸出ができた。	A
福祉政策課	【老人クラブ運営支援事業】 高齢者趣味の作品展事業			Ⅱ-2			○				○	高齢者(岸和田市内に在住する概ね60歳以上の者)の豊かな経験と知識を活かし、生きがいや文化水準の向上、社会参加の促進を図るため、趣味の作品(短歌、俳句、川柳、俳画、書、陶芸、写真、絵画、手芸)を募集し、11月26日～28日の3日間、南海浪切ホールにて展示を行っている。	限られた予算での事業のため、展示会場の設営準備作業等を外注できず、苦慮している。	更なる世代間交流(特に若い世代)を図れるよう、事業内容を工夫、充実していく。	○	○	○	○				558	○		○				○	幅広く認知された事業であり、継続していくことが必要。	A
障害者支援課	【地域生活支援事業】 点字図書給付事業			Ⅱ-2							○	情報を主に点字によって入手している視覚障害者(児)へ点字図書を給付。 実績:登録者に対し、点字新聞を年間約50冊配布(登録者3人)	特段なし。	今後も継続する。					○			48	○					障害手帳取得者へ配布している福祉のしおりに記載	○	障害者の日常生活用具の一つとして配布している。	A

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態				協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己評価		
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者 高齢者				その他	創造	発表	鑑賞	参加	食文化 その他		市(担当課以外の課名)	他団体 (団体名等)	情報発信の方法について						情報発信に関する自己評価	
																								①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS				※④の掲載先
福祉政策課	【老人クラブ運営支援事業】 校区老人クラブ運営支援事業 (生きがいと健康づくり推進)			Ⅱ-2	Ⅱ-7		○				○	高齢者(市労連に加入する単位老人クラブを対象)の社会活動や地域活動、スポーツ・文化・娯楽活動等の健康増進活動の促進を図っている。	趣味の多様化のため、一部では、限定された参加者での活動となっている。	主体的に活動する人員への支援、育成及び世代間交流を図る。	○	○	○	○			市老連及び単位老人クラブ	2,840				○			○	各単位老人クラブにおいて創意工夫を図り実施している。	A

Ⅱ-3. 国内外の演奏家や芸術家による演奏会や展覧会の開催

44	文化国際課	【浪切ホール及び旧港地区立体駐車場指定管理事業】 浪切ホール及び旧港地区立体駐車場指定管理事業	○	Ⅱ-3	Ⅲ-4	Ⅳ-3						○		文化活動の拠点施設として、また地域活性化の中核的な施設の役割を果たし、「地域の文化力」を高める事業展開を図るため、民間のノウハウを活用する指定管理者制度を導入している。 (令和7年度 年間来館者数 460,570人 企画事業数 46事業)	貸館事業において、コロナ禍以降のリモート会議の定着や在宅勤務制度などの社会環境や生活様式の変化などにより、利用状況が以前の状況に戻らない状況が続いている。	引き続き、施設の予約受付時や施設利用時などに、施設利用者の意見や要望を把握し、きめ細かい対応を行うことで、施設利用者の満足度の向上を図り、施設利用につなげていく。	○	○	○	○	○					南海・テレ岸グループ	275,738			○	○	指定管理者HP	広報紙「Nami Nami」、会報誌「Nami Tomo」	○	来館者数については、指定管理者が目標としていた50万人には、至らなかったものの、企画事業数、企画事業入場者数は、目標達成できている。	A
----	-------	--	---	-----	-----	-----	--	--	--	--	--	---	--	--	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--	--	------------	---------	--	--	---	---	---------	-------------------------------	---	--	---

Ⅱ-4. 文化団体への支援

45	文化国際課	【文化団体支援事業】 文化団体支援事業		Ⅱ-4			○					○		特定のジャンルに限らずに包括的な取り組みをしている岸和田市文化協会、岸和田文化事業協会の活動を支援し、多くの市民が参加できる取り組みを協同して推進している。	各文化団体会員の高齢化が進んでいるため、後継者となる若い世代の育成が必要。	各文化団体の特色を生かした活動を今後も継続し、団体の活動内容を広く知ってもらう。	○	○	○	○									○	団体活動の一部を支援できた。	A
----	-------	------------------------	--	-----	--	--	---	--	--	--	--	---	--	--	---------------------------------------	--	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	---	----------------	---

Ⅱ-5. 文化事業への市民参画および文化交流の促進

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点 目標 1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2							事業全体の自己評価	自己 評価		
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者 高齢者				その他	創造	発表 表	鑑賞	参加	食文化 等 その他	市(担当課以外の課名)		他団体 (団体名等)	情報発信の方法について					情報発信に関する自己評価				
																								①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先				⑤その他(具体的に)	
図書館	【図書館運営事業】 図書館活動企画事業 (友の会支援事業)			Ⅱ-5	Ⅱ-6						○	運営委員会(毎月1回) 各教室、(文章、詩、短歌、俳句、岸和田再発見、戯曲)(毎月1回程度) 総会の開催、図書館まつりへの参加、文学歴史散歩、史跡を歩くツアー、公開講演会等の開催10回、友の会ニュース(年4回)の発行。	会員の高齢化が著しいため、新規会員を確保する必要がある。	市民が興味・関心を持ち、参加してもらえる活動が続けていくことが今後の目標である。							90	○			○			○	団体の自主的な活動により、事務局は、後方支援に努めた。	A			
図書館	【読書活動事業】 (読書会支援)			Ⅱ-5	Ⅱ-6						○	地域で行われる読書会に対し、希望する本を提供し、市民の図書への理解等を支援した。	読書会の会員の減少とメンバーの高齢化。	引き続き新規会員募集を行い、メンバーの高齢化及び活性化を図る。				○						○					△	専門的な選書で本の確保が難しいが、協議を重ねることで、良い関係性が保たれている。	B		
図書館	【図書館運営事業】 図書館行事開催事業 (図書館まつり開催事業)			Ⅱ-5	Ⅱ-6	I-2					○	令和7年度の図書館まつりは、10月19日(日)に開催した。古本リサイクル市をはじめ、喫茶コーナー、落語会、戯曲、ミニおはなし会、おりがみアート展示、手作りワークショップ等を開催し好評であった。参加者は602名であった。	古本の在庫数が年々減少傾向にあり、古本リサイクル市の安定した継続が課題となっている。	令和8年度で、第28回目を迎える。今後、節目となる30周年に向け、特別企画を検討している。予算及び内容については、実行委員会が中心となり検討していく。												○		○			○	図書館まつりへの新たなボランティアスタッフの参加で、今後のビジョンに沿った活動が期待できる。メンバーの絆も深まり自主的な活動が生まれ、これからの図書館運営に連携した取組ができることが目標である。	A

Ⅱ-6. 生涯学習の推進と地域コミュニティの活性化

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態				協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己評価						
							0歳～就学前の 参加者のみ	小学生以上	妊産婦	高齢者	障害者				その他	創造	発表	鑑賞	参加	食文化 等その他		市(担当課以外の課名)	他団体 (団体名等)	情報発信の方法について						情報発信に関する自己評価					
																								①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS				※④の掲載先	⑤その他(具体的に)			
生涯学習課	【学級講座等運営事業(文庫事業)】 公民館文庫事業、公民館親子文庫事業		○	Ⅱ-6	I-2			○	○		○	読書を通し市民同士がふれあいを深める場とするとともに公民館活動の振興、充実を図るため、図書の貸し出し、整理、読書指導、おはなし会、お楽しみ会等を行っている。光陽おやこ文庫(21回112人)、城北おやこ文庫いずみの会(42回366人)、光明とんぼ文庫(48回931人)、新条文庫なかよし(59回984人)に委託し実施している。	・後継者不足 ・周知不足 ・本の選定	実施場所である公民館をはじめ、近隣の小学校、保育園、保育所等と連携しながら、地域における文庫活動の周知と活性化を図る。また、地域の子どもや保護者が気軽に利用できる環境づくりに努める。 なお、光陽おやこ文庫については、令和8年度より「ふれあい光陽公民館」へ活動場所を移す予定であったが、活動メンバーの継続が困難となり、担い手も確保できていない状況であることから、当面は図書の貸出業務のみを館職員が継続することとなった。 今後は、文庫活動を地域へ周知し、新たな担い手の確保につなげることで、文庫活動の再開を目指す必要がある。						○	○	○	○	・光陽おやこ文庫 ・城北おやこ文庫 いずみの会 ・光明とんぼ文庫 ・新条文庫なかよし		212	○			○			○	平成31年度から年1回の交流会を文庫活動のある地区館で開催。直接他の文庫の様子を見学し、活動における課題や意見交換を行う機会となっている。 令和7年度は、お話し会やコンサート等のイベント実施によって、利用者が増えた。	A
生涯学習課	【学級講座等運営事業(学級講座等)】 学級講座等運営事業、公民館活動団体支援事業、近畿公民館大会参加事業、高齢者大学運営事業、女性学級運営事業、家庭教育学級運営事業		○	Ⅱ-6	I-2			○	○		○	自主的なグループ活動の育成や学習課題の啓発・学習機会の提供を目的とし、定期講座及び短期講座をおこなった。 市立公民館では定期講座では「子ども手仕事クラブ」(13人受講)、短期講座では「匠のものづくり教室」(97人受講)、「関西CMソングの女王がやって来る！CMソングとクリスマスコンサート」(42人受講)、等を実施した。 大宮地区公民館では定期講座では「初心者ウクレレ」(14人受講)、短期講座では「親子で描きあうイラスト似顔絵」(5組受講)を実施した。	公民館事業の認知度向上を図るため、既存利用者の継続利用に加え、新たな利用者層の参加を促進する必要がある。そのため、集客が見込めるテーマの検討や、SNS等の情報発信ツールを活用した周知方法について検討を進める必要がある。	利用者ニーズを踏まえた講座の充実を図るとともに、SNS等を活用し積極的に情報発信、公民館事業の認知度向上及び利用者層の拡大を目指す。 また、公民館活動への参加をきっかけとして、継続的な学びや地域活動への参画につながるような事業展開を検討していく。						○	○	○	○	○	○	各公民館	○	2,487	○	○	○	○	○	幅広い世代を対象に、文化・芸術に触れる機会の充実を図った。 また、短期講座では、夏休み期間中に小学生向けのものづくり体験講座を実施するなど、若年層が公民館を利用するきっかけとなる事業を展開し、公民館事業の周知及び新たな利用者層の獲得に努めた。	A
八木市民センター(市民センター課)	【学級講座等運営事業】 女性学級運営事業、高齢者大学運営事業、公民館まつり開催事業		○	Ⅱ-6	I-2	Ⅱ-1		○	○		○	市民相互の結びつきと自主的な活動を支援するため、定期(4講座)、短期(8講座)、女性学級及び高齢者大学を開設・運営した。 公民館開館日には、学習できる場所として自習スペースを開放した。 公民館を利用するクラブ員等の日ごろの学習の発表する場として、公民館まつりを開催した。 開催については、分野ごとに開催期間を設定した。	魅力ある学級講座運営 定期講座講師の高齢化	自主的な学習活動の支援継続、魅力ある学級講座の運営、現代的課題の解決につながる事業運営						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	魅力ある学級講座等の開催を計画実施した。 公民館活動団体と協働し「公民館まつり」を開催し、自主運営、文化活動の充実につながった。	A	

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点 目標 1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己 評価	
							0歳～就学前の 参加者のみ	小学生以上	妊産婦	障害者 高齢者	その他				創造	発表 表	鑑賞	参加 等 その他	市(担当 課以外の 課名)	他団体 (団体名 等)	情報発信の方法について				情報 発信に する 自己 評価						
																					①市広報・市HP		②市のSNS	③ちらし・ポスター類		④市以外のHP・SNS	※④の 掲載先	⑤その他 (具体的に)			
山直市民センター(市民センター課)	【学級講座等運営事業】家庭教育学級運営事業、女性学級運営事業、高齢者大学運営事業、公民館まつり開催事業、子どもフェスティバル開催事業		○	Ⅱ-6	I-2	Ⅱ-1	○	○	○	○	○	公民館の講座について受講者アンケート等を実施し、生涯学習課と調整を図り、市民のニーズに合う講座や時代の変化に対応する講座、学級を開設した。	有料団体としての利用は増えているが、クラブ登録しての活動に至らない。利用者の高齢化	講座受講後に自主的な学習活動が継続できるよう促し、サポートしていく。	○	○	○	○	○	生涯学習課	公民館活動団体	964	○		○			地元町会 自治会 回覧	○	家庭教育学級の一部が応募人数不足で開設できなかったが、他の既存の学級については活発な活動を行うことができ、公民館の活動を近隣住民に広くPRすることができた。	A
東岸和田市民センター(市民センター課)	【学級講座等運営事業】家庭教育学級運営事業、女性学級運営事業、高齢者大学運営事業		○	Ⅱ-6	I-2	Ⅱ-1	○	○	○	○	○	市民相互の結びつきと自主的な活動を支援するため、定期(3講座)、短期(3講座)、家庭教育学級(2学級)、女性学級及び高齢者大学を開設・運営した。また、公民館開館日に空き講座室を利用して自習室を開放した。	利用者の高齢化により、利用者の世代に偏りがある。	自主的な学習活動への支援を継続する。活動団体と連携を図りながら事業運営を行っていく。	○	○	○	○	○	生涯学習課	公民館活動団体	981	○		○			地元町会 自治会 回覧	○	魅力ある学級講座等の開催を計画実施した。また、公民館活動団体と協働し、「ミニ発表会」を開催することで文化活動の充実につながった。	A
桜台市民センター(市民センター課)	【学級講座運営事業】家庭教育学級運営事業、女性学級運営事業、高齢者大学運営事業、公民館まつり開催事業		○	Ⅱ-6	I-2	Ⅱ-1	○	○		○	○	市民相互の結びつきと自主的な活動を支援するため、定期(7講座)、短期(7講座)、家庭教育学級(1学級)、女性学級及び高齢者大学を開設・運営した。また、公民館開館日に空き講座室を利用して自習室を開放した。公民館を利用するクラブ員などが学習や練習の成果を発表する場として、公民館まつりを11月に2日間開催した。	魅力ある学級講座運営	市民相互の結びつきと自主的な学習活動の支援継続、時代の流れに対応した魅力ある学級講座の運営	○	○	○	○	○	生涯学習課	公民館活動団体	1,054	○		○			地元町会、自治会回覧、近隣小学校を通じて配信・配布	○	住民の学習ニーズに応じた魅力ある学級講座等の開催を計画実施し、気軽に集える学習機会を提供できた。また、公民館活動団体と協働し「公民館まつり」を開催することで、異なる年齢層の地域住民の交流を促進し文化活動の充実につながった。	A

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点 目標1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態				協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己 評価		
							0歳～就学前 の参加者のみ	小学生以上	妊産婦	障害者 高齢者	その他				創造	発表表	鑑賞	参加	食文化 等その他	市(担当課 以外の課名)		他団体 (団体名等)	情報発信の方法について				情報発信に する自己評価				
																							①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS				※④の掲載先	⑤その他(具体的に)
春木市民センター (市民センター課)	【学級講座等運営事業】 公民館まつり開催事業、親子ふれあい事業		○	Ⅱ-6	Ⅰ-2	Ⅱ-1	○	○	○	○	○	令和7年度は、公民館分館まつりを、秋・冬の2回に分けて開催した。また、定期講座として5件、短期講座として4件、その他には「はるきキッズルーム」を開催した。	参加者の高齢化	令和8年度の公民館まつりは、秋と冬の2回開催予定である。今後、文化活動の充実・発展、地域コミュニティの醸成につなげる。	○	○	○	○	○	生涯学習課	公民館活動団体	760	○		○				○	参加者の意識を高め、自主的な取組みを定着させていくことで、事業実施の安定を図る。	A
図書館	【図書館運営事業】 図書館行事開催事業 (ブックフェスタ事業)			Ⅱ-6	Ⅲ-5			○	○	○	○	まちライブラリー、公共図書館、書店など「本がある場所(ブックスポット)」が協力し、それぞれの場所で本にまつわるイベントを開催する。 岸和田ブックフェスタ 24企画 639名参加	特になし	図書館に限らず、他の施設や地域でも開催し、相互に交流を深められるよう展開を目指す。	○	○	○	○		ブックフェスタ実行委員会	60	○		○				○	個人企画の参加者は少ないが、その分、関心のあるテーマを深く掘り下げることができるので、参加者全員が楽しめる場となっている。一方で館外のイベントに出向く企画は、他イベントとの相乗効果で、参加者人数が増え、普段図書館を利用しない人にも本に親しんでもらえている。	A	
自治振興課	【市民活動サポートセンター運営事業】 市民活動サポートセンター運営事業			Ⅱ-6	Ⅳ-3						○	市民活動の中間支援組織として、NPOを含む市民活動団体の設立や運営等に関する相談業務、市民活動団体や市民などを対象とした講座や交流会、アイデアコンテストを開催している。市民活動の情報収集や情報発信も行うなど、市民活動の活性化に努めた。	サポートセンターの認知度が低い。 団体の担い手不足の解消及び資金調達支援の充実が必要。	市民活動への関心者や参加者を増やすことで、安定した活動を市民活動団体が継続できるよう支援していく。		○		○				8,500	○	○	○	○	http://www.kishiwarda-saposen.jp/ 岸和田市市民活動サポートセンター(岸和田市立福祉総合センター2階)	○	サポートセンターの利用者が減少しているが、受託事業者は地縁型団体との交流や缶バッジ無料配布等の出張相談で周知に努めている。また、市民活動の中間支援組織として、よりよい活動が継続できるようサポートに努めている。	B	

基本目標Ⅲ まちの魅力を高める

Ⅲ-1. 歴史や文化財等への理解の促進と活用

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態				協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2							事業全体の自己評価	自己評価			
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者 高齢者				その他	創造	発表	鑑賞	参加	食文化 その他		市(担当課以外の課名)	他団体 (団体名等)	情報発信の方法について							情報発信に関する自己評価		
																								①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先				⑤その他(具体的に)	
企画課	【大阪・関西万博推進事業】催事等参加事業	○		Ⅲ-1	Ⅲ-2	Ⅲ-6						○	万博会場にて開催された大阪ウィーク春・夏・秋(大阪府及び府内43市町村)、LOCAL JAPAN展(万博首長連合)、万博ファイナルイベントに催事参画し、だんじりや伝統産品の展示・実演、高校生のステージパフォーマンス等を実施。	令和7年度で事業終了	令和7年度で事業終了		○	○		○		産業政策課 農林水産課 公園緑地課	藤井町会、岸和田・和泉・久米田・産業高校、貝塚市、東かがわ市、須崎市	11,211	○	○	○	○	博覧会協会、大阪府、万博首長連合ウェブサイト		○	本市の歴史・文化、伝統産業、食の魅力を、他自治体との連合体で出展することで、地域ならではの情報を効果的に発信することができた。	A
健康推進課	【ウエルエーシング推進活動事業】健康づくり啓発講座等開催事業、保健計画進行管理事業、ウエルエーシングきしわだ推進協議会事業、保健計画啓発事業			Ⅲ-1								○	ウエルエーシングきしわだ推進協議会が作成したウエルレシピ(季節の食材を使ったレシピや手軽に作れる朝食レシピ)をHPで紹介。 岸和田市保健計画ウエルエーシングきしわだ3次計画・第2次岸和田市食育推進計画の周知と推進のため、ダイジェスト版リーフレットを作成し各種事業やイベント等で配布。	健康づくりに必要な食に関する情報の効果的な発信。	ウエルエーシングきしわだ推進協議会の食育に関連する関係各課の主体的な取り組みとスムーズな連携のもと食育を推進できる体制づくりができる。				○	健康保険課、農林水産課、学校給食課	医師会、歯科医師会、薬剤師会、岸和田保健所、食生活改善推進協議会、フリー活動栄養士会	254	○	○	○				○	健康づくりをとした食育については、日々の健診等の業務の中で推進しているが、SNSを利用した啓発活動も取り入れ、広く周知できるよう取り組みを進めている。	A		
健康推進課	【食生活改善事業】食生活改善事業			Ⅲ-1								○	食生活改善推進員の養成事業。	養成講座参加者の増加。	食のボランティアとして地域で食育を推進する人材が増える。				○	食生活改善推進協議会		45	○	○					○	養成講座申込者は15名で、全日程(カリキュラム)受講した修了者は4名、うち食生活改善推進協議会への入会は2名、昨年度受講者1名(合計3名)。毎年度数人ずつではあるが協議会に入会し活動している。	A		

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態				協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2							事業全体の自己評価	自己評価		
							限定の参加者のみ	0歳～就学前小学生以上	妊産婦	障害者 高齢者	その他				創造	発表表	鑑賞	参加	食文化 その他	市(担当課以外の課名)		他団体 (団体名等)	情報発信の方法について					情報発信に関する自己評価				
																							①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先				⑤その他(具体的に)	
都市整備課	【丘陵地区整備事業】 岸和田グリーンビレッジ構想推進事業 (お茶畑再生プロジェクト事業)		○	Ⅲ-1			○		○		内畑町にてかつて栽培されていたお茶畑を地元の小学生(山滝小学校)とよみがえらせるプロジェクト。(株)伊藤園を講師に迎え、1年生はお茶についての講義を受けチャノキを鉢に植える。2年生は鉢植えからお茶畑へ移植する。6年生は茶葉の加工を体験する。	お茶畑の管理及び拡充。	本プロジェクトを引き続き行いながら、関係団体と協議し、内容について工夫していく。					○	○		ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会・株式会社伊藤園	299	○		○		○	ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会HP		○	かつて地元で行われていたお茶の文化に触れる機会として貢献した。	A
学校給食課	【学校給食運営事業】 学校給食実施運営事業		○	Ⅲ-1			○		○		行事食や郷土料理を給食献立に取り入れるとともに、指導資料を作成しその内容を伝える。また給食全体を通して食文化を含めた食育の推進に取り組んでいる。	給食予算や集団給食の範囲内での実施となる。	継続して実施することにより、地域の文化や伝統に対する理解と関心を深める。					○			884,131	○		○			(指導資料)給食カレンダー、一口メモ	○	行事食や郷土料理を給食献立に取り入れることで、給食を通して食文化を含めた食育の推進に取り組むことができた。	A		
郷土文化課	【郷土資料等展示事業】 展示普及事業			Ⅲ-1	Ⅲ-2					○	岸和田城展示室において、郷土の歴史・文化を主テーマとした展示を実施。常設展に加えて、年4回の企画展を開催。さらに企画展と関連した歴史講座を2回実施。また、観光交流センターにおいて出前展示等も実施した。	展示内容の充実化	来場者に対して本市の歴史・文化を紹介することで、文化財を通じて本市の魅力を周知し、郷土愛を育む活動を行う。				○			高石市教育委員会	2,273	○		○	○		市内公共施設、市内学校園等	○	来場者の増加のために、理解しやすい説明キャプションを作成する等、工夫を行った。また、事業の充実を図るため、より一層の周知をしていく必要がある。	A		

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2							事業全体の自己評価	自己評価
							0歳～就学前の 限定の参加者のみ	小学生以上	妊産婦	障害者 高齢者	その他				創造	発表	鑑賞	参加	食文化 その他	市(担当課以外の課名)	他団体 (団体名等)		情報発信の方法について					情報発信に関する自己評価			
																							①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先		⑤その他(具体的に)		
郷土文化課	【郷土文化普及事業】講座開催事業、指定文化財標柱・説明板設置事業、市史普及事業、講師派遣事業、収蔵資料貸出事業、書籍管理事業、収蔵庫展示物整理事業		○	Ⅲ-1	Ⅲ-2						○	市指定天然記念物意賀美神社社叢に説明板を設置。当課所管資料のデジタル化等。	設置した説明板の周知。 資料のデジタル化の拡充。	身近な地域での講座開催や説明板を設置することにより、歴史文化財を周知し郷土愛を育む。 資料の安定的な維持管理、活用の効率化を図る。						意賀美神社	3,169								市民センターで当地域の文化財発掘に関するパネル展や歴史に関する出前講座を開催できたこと、また説明板を設置できたことは地域住民へ広く文化財を周知できた。 データ化を実施し資料活用の効率化を図れた。	A	
郷土文化課	【岸和田市地域文化財総合活用推進事業】岸和田市地域文化財総合活用推進事業			Ⅲ-1	Ⅲ-2					○	○	令和7年度は、文化庁の地域文化財総合活用推進事業補助金の交付を受けて、市内2台のだんじりに対し、合計 661万円の補助を得て各町がだんじり用具の修理を実施することができた。	補助を希望する台数の増加。	文化庁が補助金の制度を継続し、事業団体から要望があれば今後も補助金申請の支援を行う						○	応募のあった市内2町						町会周知	○	事業団体が直接文化庁に申請する国費補助であり、市は補助金申請の支援ができるのみであるが、補助の結果、市への貢献は大きい	A	
郷土文化課	【文化財保存支援事業】指定文化財保存会支援事業、土生鼓踊り、葛城踊り			Ⅲ-1	Ⅲ-2					○	○	民俗文化財の継承、保存のための補助金の交付。	文化財の継承並びに後継者の育成。	指定文化財が後世へより良い形で継承、保存していけるように、保存会並びに所有者への支援を継続していく。							土生町鼓踊り保存会、塔原町葛城踊り保存会	260							今後も保存会、所有者との連携の強化、保護に努めたい。	A	

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態				協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己評価			
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者 高齢者				その他	創造	発表表	鑑賞	参加	食文化 その他		市(担当課以外の課名)	他団体 (団体名等)	情報発信の方法について						情報発信に関する自己評価		
																								①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS				※④の掲載先	⑤その他(具体的に)
郷土文化課	【濱田青陵賞事業】 濱田青陵賞運営協議会の運営、濱田青陵賞選考委員会の運営、授賞式式典の実施、記念シンポジウムの開催			Ⅲ-1	Ⅲ-2						○	令和7年度も有観客開催と並行してYoutubeでの動画生配信を行った。観客数は会場に150名程度、動画再生回数は当日約400回、その後の総再生回数は2500回を超える。質の高い内容を有観客、動画と多くの方にご覧いただくことができた。	事業の周知方法。	考古学の学術文化賞では最高位の賞であり「考古学の芥川賞」と呼ばれる賞として認知度、ネームバリューを活かした観客のさらなる裾野の拡大を目指す。							朝日新聞大阪本社文化部	2,457						朝日新聞の紙面	○	従来の有観客と並行して濱田青陵賞運営協議会でYoutubeチャンネルを開設し運営するなど、新しい開催形態を提示、運用できた。また授賞式・記念シンポジウム当日には岸和田市から出土した考古資料を展示することでより文化財の周知を図ることができた。	A	
文化国際課	【自泉会館指定管理事業】 自泉会館指定管理事業		○	Ⅲ-1	Ⅲ-4	Ⅱ-3					○	国の登録有形文化財である建物を保存・継承し、音楽堂としてのホールの特性や小規模な展示場を活かし、市民が身近に文化・芸術に触れる機会を提供するため、指定管理者制度を活用して、市民文化団体に運営を任せている。(令和7年度年間来館者数 15,543人 見学者898人)	後継者不足等の理由により、現指定管理者である岸和田文化事業協会が令和7年度をもって解散し、令和8年度からの新たな指定管理者として南海ビルサービス株式会社が選定された。	令和8年度からの新たな指定管理者のもと、館の役割を踏まえた市民の文化・芸術活動の展開を図る。							岸和田文化事業協会	12,500	○			○		自泉会館HP・Facebook	情報誌ぬーべる・ふぉんてーむ	○	ホールの特性を活かした市民が気軽に楽しめる演奏会・若手音楽家育成を目的とした事業、展示室では写真・講演会を実施し、市民が身近に芸術に触れる機会を提供できた。	A
観光課	【岸和田城指定管理事業】 岸和田城指定管理事業			Ⅲ-1	Ⅲ-4	Ⅲ-5					○	岸和田城の歴史に関する事業を実施。指定管理者により、ゲストによるギャラリートークを含む岸和田城復元原画等の展示会「蘇る岸和田城」や、石垣の組み方や犬走の特徴等を紹介するプロモーションビデオの作成を実施。 また、指定管理者の自主事業で、大阪港に寄港する大型クルーズ船の海外ツアー客を夜間に岸和田城で受入れ、岸和田の歴史文化を知ってもらう機会を創出した。 天守閣望楼においては、岸和田城ウェディングを通年実施している。	施設設備の老朽化が顕著である。	岸和田城リニューアルに向けてふるさと納税の寄附金使途に「岸和田城周辺等の観光のために」を追加、未来に残り愛され続ける城の実現を目指す。							公園緑地課・郷土文化課	岸和田市観光振興協会	24,913	○	○	○	○		観光振興協会SNS・岸ぶら	○	岸和田城は、本市のシンボルであり歴史・文化・観光の拠点として位置づけられており、関係機関とも連携し、岸和田城の付加価値を高める取り組みを行っていく必要がある。	B

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2							事業全体の自己評価	自己評価	
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者 高齢者				その他	創造	発表	鑑賞	参加	食文化 その他	市(担当課以外の課名)		他団体 (団体名等)	情報発信の方法について					情報発信に関する自己評価			
																								①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先				⑤その他(具体的に)
観光課	【城周辺整備計画推進事業】 城周辺整備計画進行管理事業、大阪ミュージアム構想推進事業			Ⅲ-1	Ⅲ-5						○	石畳と淡い街灯まちづくり支援事業により整備された岸和田城周辺地区において、お城まつりなどのソフト事業を実施することで、交流人口の増加による賑わいの創出に取り組んだ。	次期岸和田城周辺整備計画の策定	ソフト事業を継続実施するとともに、次期計画の策定については、市庁舎建替えの方向性がある程度見極められた段階で検討していく。				○	○		公園緑地課、郷土文化課	岸和田市観光振興協会								市庁舎建替えの方向性が示されたことにより、休止していた本計画も再開を検討する。	C	
農林水産課	【農業振興事業】 食の磨き上げ事業			Ⅲ-1	Ⅲ-5			○	○		○	大阪・関西万博を契機とした、市内農水産物の磨き上げを実施。令和7年度は第三弾岸和田黒鯛フェアを実施し、市内8飲食店で約1,660食を提供した。また、大阪・関西万博にて学校法人村川学園と連携して地元の食材を使った料理を販売と、彩誉人参ジュースの試飲を実施した。さらに、学校法人村川学園が実施した大阪食材を楽しむ美食会等へ食材を提供し、フランスやアメリカ合衆国のシェフ等に地元食材をPRした。		第45回全国豊かな海づくり大会大阪大会の実施時期に合わせ、参加する飲食店舗数の増加の施策を進めたうえで、第四弾岸和田黒鯛フェアを実施予定。	○		○	○		観光課	大阪観光局、KIX泉州ツーリズムビューロー、岸和田市観光振興協会、JALいずみの、春木漁業協同組合、岸和田市漁業協同組合、岸和田商工会議所、大阪府	2,533	○	○	○				○	これまであまり食卓にならぶことの少なかった黒鯛を市内外に周知するために実施した岸和田黒鯛フェアが3回目となったことから、知名度が向上しつつある。	A	
観光課	【観光振興事業(歴史街道等)】 歴史街道推進協議会事業、全国城郭管理者協議会事業、観光情報発信事業、牛滝山等清掃委託事業、			Ⅲ-1	Ⅲ-5	Ⅱ-7					○	歴史街道推進協議会では岸和田高校、和泉高校の学生と関西の留学生との城及び周辺施設視察と交流ワークショップを内容とした日本文化体験プログラムを実施。(高校生8名、留学生17名)	参加者が少なく、イベント募集の方法を検討していかなければならない。	積極的な市民参加により、通年事業として継続できるようにする。				○	○	○	○		岸和田市観光振興協会、歴史街道推進協議会、葛城修験日本遺産活用推進協議会	1,449	○	○	○	○		△	事業の内容は良いものの、参加者が思うように集まらなかった印象。情報発信の強化に取り組み、参加者数を増加させる必要がある。	B

Ⅲ-2. 伝統行事の保存・継承

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》		対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態				協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2					事業全体の自己評価	自己評価		
						限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者 高齢者				その他	創造	発表	鑑賞	参加	食文化 その他		市(担当課以外の課名)	他団体 (団体名等)	情報発信の方法について					情報発信に関する自己評価	
																							①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類				④市以外のHP・SNS
観光課	【だんじり祭支援事業】 だんじり祭後方支援事業、岸和田だんじり祭運営協議会事業、地車祭保存会支援事業			Ⅲ-2							○	観光客の受入体制整備を行った。また、だんじり保存会への補助金を支出した。アサヒビール株式会社による企業版ふるさと納税により、スマドリの推進とゴミのポイ捨て防止啓蒙のためのスマートごみ箱設置した。	観光客の一極集中化 ゴミ・トイレ・駐車場などの受け入れ環境の整備。 また、熱中症対策についても対策をしていかなければならない。	観光客の受け入れ体制を整えるとともに、だんじり祭を側面・後方から支援することによって、明るく楽しい市民の祭にしていく。	○	○	○	○		岸和田市観光振興協会、岸和田地車祭保存会、祭礼各団体、株式会社JTB大阪第一事業部	50,257	○	○	○	○	岸ぶら	○	伝統的地域文化の継承を図るとともに、市民はもとより観光客に気持ち良く楽しい祭と感じてもらえるよう、関係団体とも連携し、祭の一層のブランド力の向上を目指す必要がある。	A
観光課	【だんじり会館指定管理事業】 だんじり会館指定管理事業			Ⅲ-2	Ⅲ-4	Ⅲ-5					○	指定管理者によるだんじり木札ワークショップ、蔵出し展示会等、自主事業ではだんじり小屋巡りウォーク等、岸和田のだんじり文化をPRするイベントを実施し、だんじり祭に関わる文化の発信に努めた。また、大阪港に寄港する大型クルーズ船の海外ツアー客を夜間にだんじり会館で受入れ、岸和田の祭文化を知ってもらう機会を創出した。	入場者数が伸び悩んでいる。 施設設備の老朽化が進んでいる。	指定管理者と連携し、全国的に知名度のある「だんじり」という他にない資源を最大限に魅力発信し、年中通じて活用できるブランド化に取り組む。			○	○		岸和田市観光振興協会	58,826	○	○	○	○	観光振興協会SNS・岸ぶら	○	指定管理者や祭礼団体と連携し、だんじり文化に関するワークショップや展示に引き続き取り組んでいく。	B

Ⅲ-3. 自然環境や景観との調和

75	都市整備課	【丘陵地区整備事業】 岸和田グリーンビレッジ構想推進事業（里山環境保全）		Ⅲ-3									○	本事業では都市・農・自然が融合したまちづくりを推進しており、事業の一環として丘陵地区に生息するフクロウをシンボルとして里山環境の再生保全を目的としてフクロウの森再生プロジェクトを実施している。自然エリアでは良好な里山環境の保全と創出を目指している。	広報活動の強化。	継続してイベントを実施することにより、市民の自然への関心を高める。				○				ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会	2,635	○	○		○	ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会HP		○	イベントを通じて、取り組みの趣旨を伝えることには一定の効果があつた。	A
----	-------	---	--	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	----------	-----------------------------------	--	--	--	---	--	--	--	------------------	-------	---	---	--	---	--------------------	--	---	------------------------------------	---

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者				実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態				協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己評価				
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦				障害者 高齢者	その他	創造	発表	鑑賞	参加		食文化等 その他	市(担当課以外の課名)	他団体 (団体名等)	情報発信の方法について					情報発信に関する自己評価			
																								①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類				④市以外のHP・SNS	※④の掲載先	⑤その他(具体的に)
都市計画課	【景観形成市民団体支援事業】 岸和田駅東地区景観まちづくり協議会支援事業			Ⅲ-3			○			○	岸和田駅東地区を、市の玄関口に相応しい建築物と道路が調和した美しい魅力あるまちにするため、同地区内で景観形成に寄与する活動を行う「岸和田駅東地区景観まちづくり協議会」の支援を実施(団体運営補助金の交付及び活動へのアドバイス等の助力)	岸和田駅東地区景観まちづくり協議会が実施している花いっぱい推進プロジェクトは、花苗やプランターなどの資材購入が必要だが、近年は資材費が高騰しているため予算確保の取組みが必要	引き続き、団体運営補助金の交付を行う。また、団体の自主性を損なわないよう、情報収集・提供などの後方支援に努める(景観まちづくりに関する情報や資金調達に関する情報の収集及び提供)	○			○		廃棄物対策課、東光小学校	岸和田市公園緑化協会	100	○						テレビ岸和田	○	岸和田駅東地区景観まちづくり協議会の支援を実施することで適切な景観まちづくり活動が行われ、岸和田駅東地区が市の玄関口に相応しい景観に配慮された美しい魅力あるまちになっている	A	
都市計画課	【歴史的景観保全支援事業】 歴史的景観保全支援事業(古民家等の利活用促進に係る包括連携の取組み)	○		Ⅲ-3	Ⅲ-1					○	住みよい文化的で潤いのあるまちを実現するため、全国古民家再生協会や本町のまちづくりを考える会等と連携協定を締結し、歴史的まちなみ保全地区において歴史的景観を保全するための空き家古民家の利活用に繋がる取組みを実施(伝統耐震診断の実施、古民家利活用の提案・マッチング事業等)	令和8年度から保全地区内の空き家古民家の利活用の取組みを開始するため、取組み内容、市・団体の関わり方、役割分担を整理し、令和7年度中に関係団体と連携協定を締結した。歴史的町並み保全を目的とした古民家等の利活用の取組みは初めての試みであり、令和8年度から実際に取組みを進めていく中で計画に齟齬が生じる可能性もあり、取組み内容や役割分担などについて更なる整理が必要になる可能性がある。	連携協定を締結した関係団体との連携・情報共有を密にし、各種取り組みを昇華させながら進める	○	○	○	○			本町のまちづくりを考える会、全国古民家再生協会大阪第二支部、全国空き家アドバイザー協議会大阪府岸和田支部、歴史的町並み保全基金運営委員会、		0	○			○	全国古民家再生協会のホームページ、会報誌	○	歴史的まちなみ保全地区において空き家古民家の利活用を進めることにより、歴史的景観を形成している環境を保全し、住みよい文化的で潤いのあるまちの実現に寄与することができる。(令和7年度は次年度からの取組み開始に向けて、内容の考察と関係団体等連携協定を締結したのみ)	A		
郷土文化課	【自然資料館普及・展示事業】 企画展開催事業、講師派遣事業、室内講座等実施事業、野外観察会実施事業、自然関連冊子発行事業、展示品整備事業、特別展開催事業、自然資料貸出事業、調査・研究事業、自然資料収集・整理・保管事業、きしわだ自然友の会支援事業、フナ林保全事業		○	Ⅲ-3	I-3		○	○		○	身近な自然の多様さを学び、郷土の自然と自然保護への理解を深め、地球環境や自然史科学についての関心を高めるため、野外観察会や室内講座、展示等の事業を実施した。 令和7年度は、自然資料館開館30周年記念事業として普及イベントや特別展を開催し、映像上映装置を更新した。 野外観察会、室内講座等参加者数3,919人 特別展、企画展 入場者数7,618人	常設展示の更新。 学校園との連携強化。 対面とオンラインを効果的に組み合わせた行事、出前授業等の継続。 部内連携による子育て支援等の社会的課題解決につながる取り組み。	事業内容の質的向上を図りつつ、自然環境の保全や科学技術、博物館、SDGs等に市民の関心を得るよう取り組む。	○			○	○		図書館、スポーツ振興課、生涯学習課及び地区公民館・青少年会館、市民センター、産業高校、環境保全課、産業政策課、公園緑地課	近隣博物館、関連の自主活動グループ、NPO大阪自然史センター、きしわだ自然友の会、(公財)大阪府都市整備推進センター、共和海建(株)、(株)日立ハイテク、靖鈴池公園、神於山保全くらぶ、岸和田郵趣会、日本野鳥の会大阪支部、(社福)鷺草、(同)結creation	9,795	○	○	○	○		きしわだ自然友の会HP、X、Facebook	読売新聞、テレビ岸和田	○	開館30周年記念事業で、イベントには多くの参加者があり、年間入館者数は2万人超を維持した。出前授業も対面実施が主流となったが、事前打ち合わせ等では、引き続きオンラインも有効に活用した。	A

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態				協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2							事業全体の自己評価	自己評価	
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者 高齢者				その他	創造	発表表	鑑賞	参加	食文化等 その他		市(担当課以外の課名)	他団体 (団体名等)	情報発信の方法について							情報発信に関する自己評価
																								①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらしポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先			
都市計画課	【景観形成事業】 景観形成推進事業			Ⅲ-3	Ⅱ-7						○	住み良い文化的で潤いのある美しいまちを創出するため、岸和田らしい景観の保全形成を目指す啓発事業の取組の1つとしてこれまでに指定している、ここに残る景観資源を活用した景観啓発事業等を実施している。 令和7年度は、北部地域の商業施設で当該地域に関する景観展示の実施や、アスマイルを活用したデジタルウォーキングイベント、景観担当公式インスタグラムによる情報発信を行うなど、景観啓発に取り組んだ。	発掘した資源を広く周知し、市民の景観に対する意識や地域への愛着の向上を図る。 各種取組みの認知度が低い。	様々な情報ツールを活用して、広報を強化するとともに、観光・教育や環境部局との連携を図り、幅広い年齢層への啓発を図っていきたい。						東岸和田市民センター、春木市民センター、桜台市民センター、八木市民センター、山直市民センター	商工会議所、テレビ岸和田	913	○	○	○	○	映える大阪プロジェクト	テレビ岸和田番組表 (Vision)	○	ここに残る景観資源発掘プロジェクトは令和4年度で終了。今後はこれらの蓄積した景観資源を活用した啓発に努めたいと考えている。	A
都市計画課	【歴史的景観保全支援事業】 歴史的景観保全支援事業(家屋修景助成)			Ⅲ-3	Ⅱ-7						○	住みよい文化的で潤いのあるまちを実現するため、歴史的まちなみ保全地区において歴史的景観に配慮した家屋等の修景行為を行う市民等に対し、市が修景費用の一部を補助 ●歴史的まちなみ保全地区の町並みは、市民や地区内の保全活動団体の理解と協力により保たれているものの、理解のないデベロッパー等による無秩序な開発行為が行われて町並みが崩れる可能性がゼロではない ●修景費用の補助は有限の歴史的町並み保全基金を活用して行っているため、遠い将来基金が枯渇したときの対策が必要		引き続き、家屋等修景費用の補助を行う。				○		歴史的町並み保全基金運営委員会、本町のまちづくりを考える会		0	○						○	歴史的まちなみ保全地区において家屋修景を行うことにより、歴史的景観を形成している環境を保全し、住みよい文化的で潤いのあるまちの実現に寄与している。(令和7年度は、修景補助活用の相談があり、家屋等の修景が行われる予定であるが、年度中に修景行為に至らなかったため事業費は0である。)	A
観光課	【まちづくりの館指定管理事業】 まちづくりの館指定管理事業			Ⅲ-3	Ⅲ-1	Ⅲ-5					○	観光パンフレットの配架や歴史的建築物等の各種パネル展示などにより、岸和田の文化・歴史・観光に関する情報を発信した。 また、四季折々の展示を行う歳時記プロジェクトの開催や岸和田の歴史・文化を学ぶ講座の開講により、郷土文化の継承を実施した。	歴史文化を発信する拠点となるような事業展開が必要。 インバウンド対策。	周辺施設と連携し、城下町としてのにぎわいを創出する。翻訳機の導入等により、すべての利用者が目的に応じた情報を得る事ができる。				○		都市計画課 本町のまちづくりを考える会		7,912	○		○		本町のまちづくりを考える会SNS	○	親切・丁寧な対応で来館者におもてなしを実施している。 インバウンド対策として、受け入れ環境の整備が必要。	B	

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2							事業全体の自己評価	自己評価	
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者 高齢者				その他	創造	発表	鑑賞	参加	食文化 その他	市(担当課以外の課名)		他団体 (団体名等)	情報発信の方法について					情報発信に関する自己評価			
																								①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先				⑤その他(具体的に)
都市計画課	【歴史的景観保全支援事業】 歴史的景観保全支援事業 (団体活動支援事業)			Ⅲ-3	Ⅲ-5		○						住みよい文化的で潤いのあるまちを実現するため、歴史的まちなみ保全地区において町並み保全活動を行う「本町のまちづくりを考える会」の支援を実施(団体運営補助金の交付及び活動へのアドバイス等の助力)	本町は大々的な宅地開発が行われるようなエリアでは無い ため人の流入が少なく高齢化も進行しやすい ため、本町のまちづくりを考える会の役員等の担い手が不足している。	引き続き、団体運営補助金の交付を行う。また、団体の自主性を損なわないよう、情報収集・提供などの後方支援に努める(歴史的町並み保全活動事例、古民家活用事例、まちづくり活動事例、世代交代や次世代育成に関する事例等の情報収集と提供)							本町のまちづくりを考える会、歴史的町並み保全基金運営委員会、全国古民家再生協会大阪第二支部、全国空き家アドバイザー協議会大阪府岸和田支部	200	○	○	○	○	まちづくりの館ホームページ		○	本町のまちづくりを考える会の支援を実施することで適切な歴史的町並み保全活動が行われ、住みよい文化的で潤いのあるまちの実現に寄与している。	A
都市整備課	【丘陵地区整備事業】 岸和田グリーンビレッジ構想推進事業 (竹まつり開催事業)			Ⅲ-3	Ⅲ-5						○	地域資源である「竹」をひとつの財産として考え、産官学民連携し地域主体で、継続的なイベント(竹資源の活用や循環を発信)を目指し、岸和田市の魅力をゆめみヶ丘岸和田から発信する。	広報活動の強化。	継続してイベントを実施することにより、岸和田の自然を広くPRする。					○			ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会		○	○	○	○	ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会HP		○	イベント準備の段階から取組みに関心のある人と繋がることで、岸和田の魅力を広く伝えることは一定の効果があった。	A
環境保全課	【自然環境保全事業】 指導・啓発事業、神於山里山保全事業			Ⅲ-3	Ⅳ-1						○	里山保全のボランティアに関心のある人に対し、里山及び里山保全活動に関する知識及び技術の基礎を講習することで、里山保全活動の担い手を育成した。 申込者数:6人	申込者数が少なかった。 周知方法の更なる工夫が必要である。	里山保全活動の担い手を増やし、活動の活性化を目指す。 若年層の受講者を増やすために、時代に適応したカリキュラムや講座環境の整備をし、高校生などに門戸を広げることも検討する。					○	○		NPO法人神於山保全くらぶ	276	○	○	○			○	ほぼ計画どおり講座は開催された。申込者数は少なかったが、6人中4人が神於山保全くらぶ加入につながったことは成功と評価する。 引き続き事業を継続することで、里山保全活動の担い手が増え、活動の活性化が推進すると思われる。	A	

Ⅲ-4. 文化施設の整備

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点 目標 1	《基本目標・各方向性》			対象者				実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態				協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己 評価					
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦				高齢者	障害者	その他	創造	発表	鑑賞		参加	食文化等その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	情報発信の方法について				情報発信に関する自己評価				
																									①市広報・市HP	②市のSNS				③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先	⑤その他(具体的に)
観光課	【五風荘指定管理事業】 五風荘指定管理事業			Ⅲ-4	Ⅲ-1	Ⅱ-7					○	五風荘の通常営業に加え、お城まつりでは泉州の物産展開催時に合わせて八陣の庭でライトアップを実施。3/28からは岸和田城お堀において「岸和田城舟遊び事業」実施した。 また、天守閣望楼においては、岸和田城ウェディングを通年実施している。	飲食店利用者の増加を目指す事と施設の維持管理。	施設の修繕・整備。歴史的建造物の有効な活用の実現。				○		○	公園緑地課、郷土文化課	岸和田グランドホールHP、岸ぶら						○	○	岸和田グランドホールHP、岸ぶら	◎	施設を活用した事業展開や周辺施設と連携が必要。	B

Ⅲ-5. イベントを活用した魅力あるまちづくり

86	公営競技事業所	【周辺環境整備支援事業】ファミリータ涼み会開催事業	○	Ⅲ-5	Ⅰ-2							○	地元町会や関係各所の協力のもと、様々な店舗出店やプレゼント抽選会等を実施し地域住民の交流の場を提供する。	特段なし。	今後も引き続き実施し地域住民への還元を行うとともに、競輪事業への理解獲得に努める。		○	○	○		ふあみりータ涼み会実行委員会外	7,200	○		○	○	岸和田けいりん公式HP		○	多数の方に来場いただき出店数も大きく変わることなく実施できた。	A		
87	都市計画課	【まちづくり支援事業】エリアマネジメント支援事業、エリアマネジメント啓発事業、中心市街地活性化支援事業		Ⅲ-5	Ⅱ-6							○	日常生活の中で誰もが利用する「駅」周辺を、行政と地域住民や地元関係団体等（駅周辺の事業者や学校等）が協働し、「美しく個性がきらめき、魅力ある空間に再生」してまちの活性化につなげるくプロジェクトを実施。ラティスに花植えバスケットを取付・展示し、地域を彩るガーデニングショウを5月に東岸和田駅前に実施。	活動母体である「地域の魅力顔づくりプロジェクト＜東岸和田東地区＞住委員協議会」は協議会設置時に防災街区整備事業組合から受けた寄附で活動を継続している。ただ、収入源が少なく、いずれ資金が枯渇するため予算削減や活動の転換が必要。	現状の活動について、地域住民や近隣事業者へのPRと活動への参加を促し、交流促進と駅周辺の活性化と価値の維持向上を図る。また、協議会メンバーで新たな活動展開について協議を進める。		○	○	○	○		東岸和田市民センター、旭小学校、太田小学校	旭・太田市民協議会、旭校区連合町会、太田校区連合町会、リハープ全体管理組合、大阪府岸和田土木事務所、近隣学校、駅周辺事業者等	73	○	○	○	○	大阪府岸和田土木事務所のホームページ、インスタグラム		○	活動に地域住民を含めた関係者が関わることで、交流促進につながり、顔の見える関係性の構築につながっている。また、小中学生達の文化事業の充実にも寄与している。ガーデニングショウは、駅周辺の活性化に寄与し、周辺住民に幅広く認知されており、毎年楽しみにしているという声も多い。	A

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》		対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態				協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2							事業全体の自己評価	自己評価	
						限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者 高齢者				その他	創造	発表	鑑賞	参加	食文化 その他		市(担当課以外の課名)	他団体 (団体名等)	情報発信の方法について							情報発信に関する自己評価
																							①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先			
企画課	【中心市街地活性化事業】 中心市街地活性化事業			Ⅲ-5	Ⅱ-7						○	岸和田市中心市街地活性化基本計画に沿って、各種事業を推進している岸和田TMO(商業まちづくり機構)、商工会議所等との共同事業として開催するイベントへの参画。	岸和田TMOとの関わり方や、部会事務局としての役割について整理が必要。	関係各課と連携し、中心市街地の活性化が図れるよう支援していく。	○	○	○	○		産業政策課・都市計画課	岸和田TMO、岸和田商工会議所	(TMO支援事業として産業政策課の支援有)	○	○	○	○	どんチャカフェスタのインスタ	○	各種事業について、庁内関係部局と連携しているところではあるが、より効果的な取組を実施するため、更なる連携強化が必要。	A
広報広聴課	【シティセールス推進事業】 シティセールス推進事業			Ⅲ-5	Ⅱ-7						○	岸和田のファンの方が、写真や動画という方法を用いて、岸和田市の魅力を発信できるよう、市主催の動画・フォトコンテストを開催し、市民をはじめ237作品の応募があった。	岸和田のファンの方が、引き続き写真や動画をとおして岸和田市の魅力を発信したいと思える仕組みが必要。	岸和田市のファンの方が、写真や動画をとおして岸和田市の魅力を発信できるよう、コンテスト等の取り組みを継続していく。	○	○	○	○		株式会社新通	700	○	○	○		Instagram広告	△	昨年度と比較し、参加者が少なくなってしまう。今後、より多くの参加者を確保できるよう検討が必要。	C	
農林水産課	【農業振興事業(農業まつり等)】 農産物ブランド化支援事業、農産物品評事業、エコ農産物推進事業、農研クラブ支援事業、果樹振興会支援事業、認定農業者協議会支援事業、大阪版認定農業者支援事業、畜産連絡協議会支援事業、農業体験事業、農業まつり開催事業			Ⅲ-5	Ⅱ-7			○	○		○	市民の農業に対する理解や認識を深め、農業振興に資するため農業まつりを開催する。 農業者の表彰、展示即売会、試食会、ステージ企画等を行い、農産物等の紹介、農林業の啓発と都市住民との交流等の機会の提供。 令和7年度は「全国豊かな海づくり大会一年前のプレイベント」の協賛行事として、同日の10月26日にアクアパークで開催した。 令和7年度の入場者数は約7,800人	「全国豊かな海づくり大会一年前のプレイベント」の協賛行事として、10月26日にアクアパークで開催したが、例年の農業まつりと日程・場所が変更になったことについて、事前PRが十分ではなく、周知が足りなかった。 今後も実行委員会等で各団体と協議をしながら課題点等の抽出、解消を行う。	企画内容の工夫などをしていき、農業まつりの活性化を図る。			○	○	○		JALいずみの・大阪府・農業委員会・農業研究クラブ協議会・果樹振興会・林業活性化協議会 他17団体	2,228	○		○		農協の広報紙	○	岸和田市において農業は主要な産業のひとつであり、その振興は今後も重要である。参加団体の意欲を高め、より協働できる仕組みづくりが必要。	A

[illegible]

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者				実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態				協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己評価				
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦				障害者 高齢者	その他	創造	発表表	鑑賞	参加		食文化 その他	市(担当課以外の課名)	他団体 (団体名等)	情報発信の方法について					情報発信に関する自己評価			
																								①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類				④市以外のHP・SNS	※④の掲載先	⑤その他(具体的に)
観光課	【二の丸広場観光交流センター指定管理事業】 二の丸広場観光交流センター指定管理事業		○	Ⅲ-5	Ⅲ-1						○	指定管理者により、ゴム製手裏剣を使った手裏剣体験や忍者コスチュームでの記念撮影、忍者にまつわるクイズ、岡部家と甲賀忍者の関りを紹介するパネル展等の事業を実施し、岸和田市における忍者の歴史文化について学ぶ機会を創出した。また、水なす漬け体験も実施し、食文化についても学ぶ機会を創出した。地場野菜・パン・ドリンク等の販売も実施。	城周辺施設と連携した事業展開が必要。また、飲食物を扱う為、安心安全なサービス提供の為にも管理体制の充実化が必要。	歴史・文化(食文化)・観光情報等も得る事ができ、また地域住民や観光客が交流を図る憩いの場として定着する。				○	○	○	公園緑地課	岸和田市観光振興協会	13,711	○	○	○	○	岸和田市観光振興協会SNS、岸ぶら		◎	市民・観光客すべての人にとって憩いの場となる必要があるため、両者の考えを考慮しながら改善を重ねていかなければならない。	B
観光課	【広域観光事業】 泉州観光DMO事業			Ⅲ-5	Ⅳ-3						○	泉州市町が集まる9市4町連絡調整会議へ参加し、イベントや実施事業の共有を行った。	事務局の報告がメインとなっており、泉州市町による意見交換やデータ分析に基づいた取り組みを実施し、今後の連携に向けた取組み等の検討が必要。	泉州市町で活発的な意見交換を実施し、相互PRによる泉州地域への誘客へ繋げる。	○	○		○	○		KIX泉州ツーリズムビューロー	3,753	○	○	○	○	KIX泉州ツーリズムビューローSNS		○	積極的な議論や情報交換を行い、泉州地域をPRしていく必要がある。	B	

Ⅲ-6. 伝統工芸品などの価値発信

96	産業政策課			Ⅲ-6	Ⅱ-7							○	岸和田らしさを備えた優れた産品を岸和田ブランドとして認定し、情報発信や販売促進を推進することで岸和田市の知名度向上を図っている。令和7年度は、1品目の新規認定、13品目の再認定を行った。各種イベントにおいて岸和田ブランドのブースを出展し、PRを図った。	ブランドの認知度向上。	岸和田ブランドのさらなる認知度向上のために施策を展開していく。	○	○		○		岸和田商工会議所、泉州広告㈱、テレビ岸和田、岸和田市観光振興協会	1,761	○		○	○	岸和田商工会議所、X(旧ツイッター)		○	岸和田ブランドの認知度のさらなる向上のため、多くの人の目に触れるようHP、SNSのほかパンフレット、動画を作成。また各種イベント出展等PRを行っている。	A
----	-------	--	--	-----	-----	--	--	--	--	--	--	---	--	-------------	---------------------------------	---	---	--	---	--	----------------------------------	-------	---	--	---	---	--------------------	--	---	--	---

基本目標Ⅳ 未来へつなぐ

Ⅳ-1. 文化の担い手の育成

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》			対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態				協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2							事業全体の自己評価	自己評価					
							限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者 高齢者				その他	創造	発表	鑑賞	参加	食文化 その他		市(担当課以外の課名)	他団体 (団体名等)	情報発信の方法について							情報発信に関する自己評価				
																								①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS	※④の掲載先				⑤その他(具体的に)			
農林水産課	【地域農政推進対策事業】担い手育成事業、農業次世代人材投資事業			Ⅳ-1	Ⅲ-5						○	○	○	市民参加によるじゃがいも(30組)、サツマイモ(34組)の収穫体験。	申し込みが多く抽選が必要。	事業の内容を工夫し、参加者の拡充を図る。						○	○		きしわだ生き生き農業応援団	600	○						○	参加者の満足度が高い。	A

Ⅳ-2. 活動団体、個人の表彰制度の整備

98	文化国際課 【芸術文化普及事業】文化祭開催事業（文化の日祝典事業）			Ⅳ-2	Ⅱ-3						○	11月3日文化の日に、本市の文化教育の振興に貢献した方々の功績をたたえ、祝典を開催。1部では功績のあった方々への表彰式、2部では関係者以外も鑑賞できる記念コンサート「ハーモニーで彩る文化の日 ～女性コーラスアンサンブル～」を開催。1部出席者数193人、2部入場者数195人。	祝典を広く周知するため、幅広い方々に関心を持ってもらえるような記念事業の企画が必要。年度によって入場者数のばらつきがある。	若い方の表彰も増えてきているため、熟年の方との文化交流も活発になればよい。また、「文化の日」にふさわしい事業を企画し実施していくことで、文化・芸術の推進に寄与していく。				○	○		教育委員会	岸和田文化事業協会	346	○		○	○	岸和田文化事業協会HP・Facebook		○	1部では功績のあった方々への表彰式を行い、市全体の文化の向上の周知に寄与できた。2部では、女性コーラスによるハーモニーを来場者には楽しんでいただくことができた。	A
----	--------------------------------------	--	--	-----	-----	--	--	--	--	--	---	---	---	--	--	--	--	---	---	--	-------	-----------	-----	---	--	---	---	----------------------	--	---	--	---

Ⅳ-3. 情報の収集、発信

99	広報広聴課 【広報事業】広報きしわだ発行事業、声の広報きしわだ発行事業、点字広報きしわだ発行事業、インターネット情報発信事業			Ⅳ-3							○	市民が文化に関する情報を得られるよう、市の広報紙「広報きしわだ」（発行部数74,500/月）やSNSにおいて文化に関するイベント及び事業の情報を適宜情報発信した。また、広報紙においては点字版、音声版を同時に製作・公開しているほか、インターネット上でも電子版広報紙を公開し、「いつでもどんな状態の人でも」等しく情報を得られる機会を創出している。	イベントや事業の担当部署からの掲載依頼がなければ広報紙掲載が叶わない点。また、そういった状況を生む、各事業担当者の広報意識のレベル差。	各課の情報発信意識を高める機運醸成に努めるほか、引き続き広報紙等で文化活動に資する情報を発信する。				○			28,462	○	○						○	依頼のあった情報については、滞りなく情報発信することができた。	A
----	---	--	--	-----	--	--	--	--	--	--	---	---	---	---	--	--	--	---	--	--	--------	---	---	--	--	--	--	--	---	---------------------------------	---

担当課	事業名	R7 年度新規事業	重点目標1	《基本目標・各方向性》		対象者					実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態				協働した団体		事業費 (千円)	重点目標2						事業全体の自己評価	自己評価			
						限定の参加者のみ	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者				その他	創造	発表	鑑賞	参加	食文化等その他		市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	情報発信の方法について						情報発信に関する自己評価		
																							①市広報・市HP	②市のSNS	③ちらし・ポスター類	④市以外のHP・SNS				※④の掲載先	⑤その他(具体的に)
文化国際課	【芸術文化普及事業】 文化・芸術による魅力発信事業			IV-3							○	市HP(文化国際課ページ)において、文化芸術に関する助成の情報を発信。	発信による効果が不明。HPのみならず、他の手法も加えるなど周知の検討が必要。	今後も継続するとともに、情報発信の手法と周知に努めていく。								○					○	助成に関する情報をHPで発信している。情報収集し、適切に更新していく。また引き続きの継続とともに周知に努める。	A		
文化国際課	【文化振興基金積立事業】 文化振興基金積立事業(文化振興基金活用)			IV-4							○	文化振興基金は、文化施設の修繕やソフト事業の実施に活用されている。現在、岸和田市ふるさと寄附金事業のなかの一つの選択肢として文化振興基金が位置付けられている。ふるさと寄附金事業を案内するチラシがあり、担当課が中心となって広報活動を行っている。(アウトリーチ事業・クラスコンサート・杉江能楽堂「素踊りの會」)	原資の確保と、基金の周知活動。	寄附者の満足度を高めていく活用方法を検討していく。					○	企画課	8,932	○			○	○	専用ポータルサイト		○	現在、ふるさと寄附金事業の周知方法はチラシ・専用ポータルサイトがある。また、基金の活用結果も同様に行っている。	A